

**美濃加茂市役所新庁舎整備における
市民アンケート
調査結果報告書**

令和4年10月

美濃加茂市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の概要	1
1-1 調査の目的	1
1-2 調査の設計	1
1-3 回収結果	1
1-4 報告書の見方	2
II 市民アンケート調査の結果	3
1 回答者の属性	3
1-1 年齢	3
1-2 居住地区	3
1-3 国籍	4
2 市役所の利用頻度	4
3 新庁舎整備の認知度	5
4 新庁舎整備について知った時期	5
5 新庁舎整備について知った媒体	6
6 新庁舎整備について知らなかった理由	6
7 美濃太田駅周辺整備地への賛否	7
8 美濃太田駅周辺整備地に賛成した理由	12
9 美濃太田駅周辺整備地に反対した理由	14
10 美濃太田駅周辺整備地について判断できなかった理由	16
11 新庁舎整備において大切にすべき視点	17
12 新庁舎の建設エリアで重要視する内容	21
13 現在の市役所本庁舎に不足している部分	25
14 市民説明会への参加の有無	29
15 市民説明会に参加しなかった理由	29
16 市民説明会に参加しやすい曜日・時間帯	30
17 オンライン説明会への参加意向	35
18 新庁舎に関わる情報発信として利用しやすい媒体	39
19 新庁舎整備事業に関するご意見	42

I 調査の概要

1 調査の概要

1-1 調査の目的

この調査は、新庁舎整備についての市民の意見を把握して、これまでの進め方について検証を行い、今後の進め方の参考とすることを目的として実施しました。

1-2 調査の設計

この調査は、下記の設計で実施しました。

調査地域	美濃加茂市域全域
調査対象	美濃加茂市在住の満15歳以上の人
標本サイズ	4,000人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収・Web回答
調査期間	令和4年7月22日～8月12日

1-3 回収結果

調査種別	配布数	回収数(回収率)
市民アンケート	4,000 (100.0%)	1,809 (45.2%)

<市民アンケートの年代別及び居住地区別回収結果>

年代	配布数	回収数(回収率)	地区	配布数	回収数(回収率)
10歳代	252	77 (30.6%)	太田	856	378 (44.2%)
20歳代	497	136 (27.4%)	古井	1,201	501 (41.7%)
30歳代	580	205 (35.3%)	山之上	174	92 (52.9%)
40歳代	705	300 (42.6%)	蜂屋	523	251 (48.0%)
50歳代	611	286 (46.8%)	加茂野	722	321 (44.5%)
60歳代	506	298 (58.9%)	伊深	82	45 (54.9%)
70歳代	501	323 (64.5%)	三和	33	20 (60.6%)
80歳以上	348	169 (48.6%)	下米田	409	181 (44.3%)
総計	4,000	1,794 (44.9%)	総計	4,000	1,789 (44.7%)

※回収数はそれぞれ年齢無回答者、居住地区無回答者を除いているため、全体の回収数1,809とは異なります。

1 - 4 報告書の見方

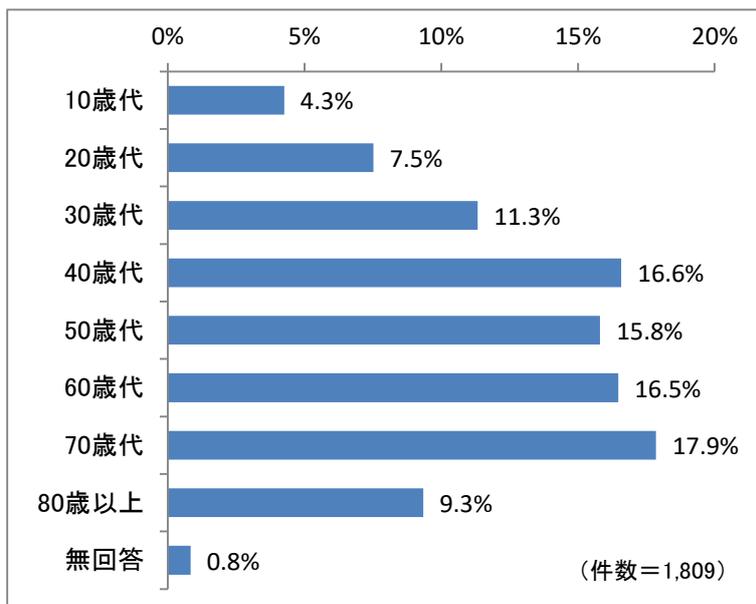
- (1) 比率を求める際の基数となるべき実数は、件数として掲載しました。したがって比率は、件数（「無回答」を除く。）を 100%として算出しています。
- (2) 比率はすべて%で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため比率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- (3) 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が回答者全体のうち何%なのかという見方をします。そのため、各項目の比率の合計は通常 100%を超えます。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び文章における回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に一部を省略して掲載している場合があります。
- (5) クロス集計表において、黄色（着色）の項目は、全体での第1位項目であることを示しています。
- (6) クロス集計分析において、分析軸となる層の件数が 10 件未満の場合は、誤差が大きいと考えられるため、分析の対象としていません。また、国籍の「その他」及び問 5 - 1 「新庁舎整備について知った時期」の「その他」は、分析軸から除外しています。

II 市民アンケート調査の結果

1 回答者の属性

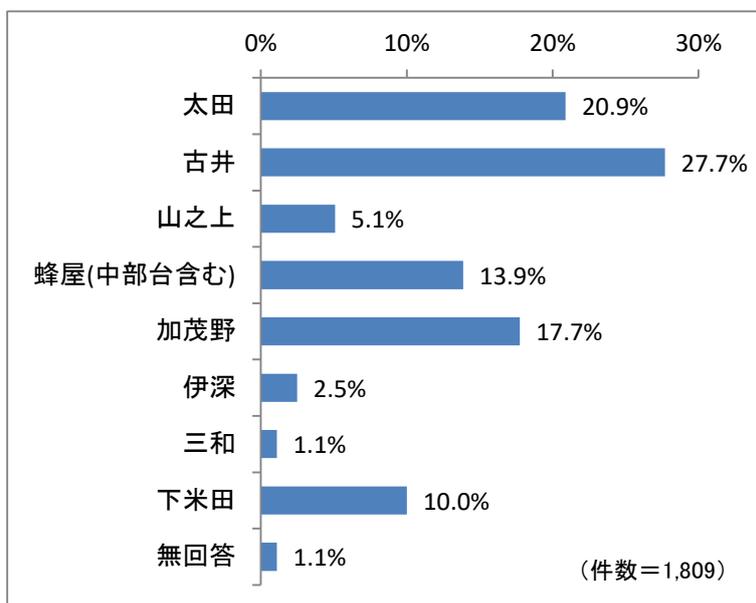
1-1 年齢

回答者の年齢（令和4年7月1日現在）は、「70歳代」（17.9%）が最も高く、次いで「40歳代」（16.6%）が高くなっています。



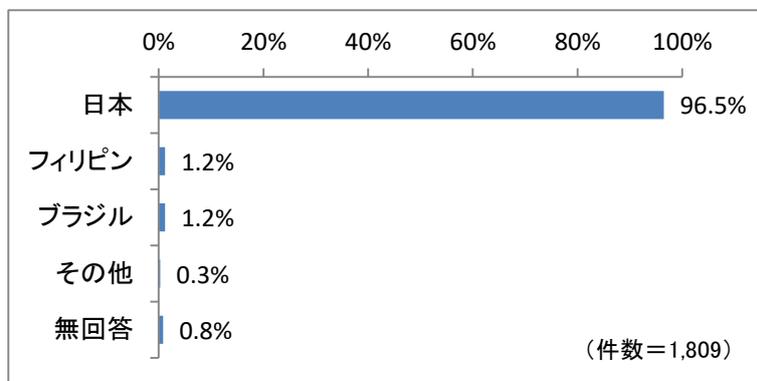
1-2 居住地区

居住地区は、「古井」（27.7%）が最も高く、「三和」（1.1%）が最も低くなっています。



1-3 国籍

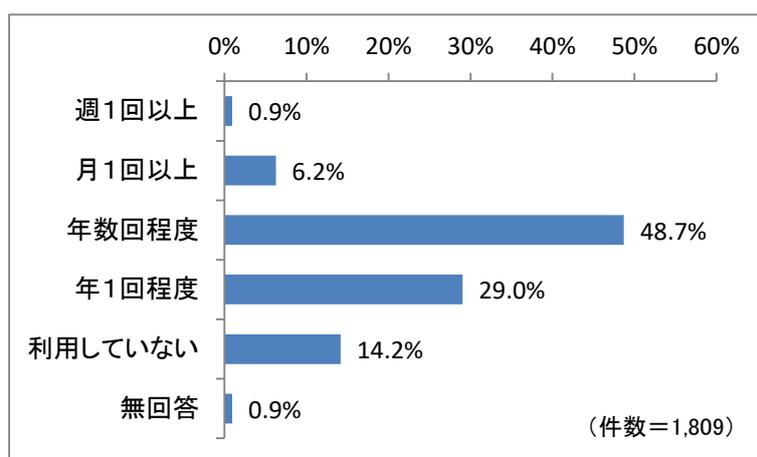
国籍は、「日本」が 96.5%、「フィリピン」「ブラジル」がともに 1.2%、「その他」が 0.3%となっています。



2 市役所の利用頻度

問4 市役所の訪問頻度は次のどれですか。最近1年間の利用頻度について教えてください。
(○は1つ)

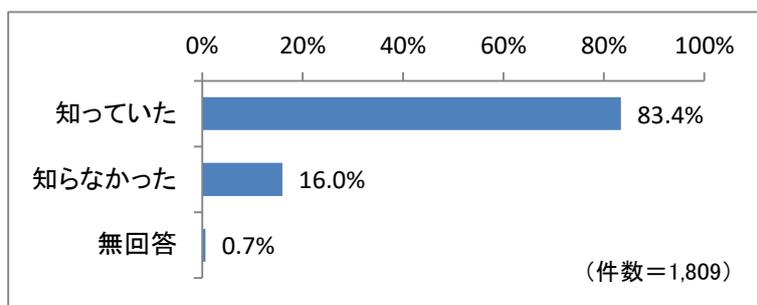
市役所の利用頻度は、「年数回程度」(48.7%)が最も高く、次いで「年1回程度」(29.0%)が高くなっています。また、「利用していない」は14.2%となっています。



3 新庁舎整備の認知度

問5 新庁舎を整備する計画があったことを知っていましたか。(○は1つ)

新庁舎の整備については「知っていた」が83.4%、「知らなかった」が16.0%となっています。

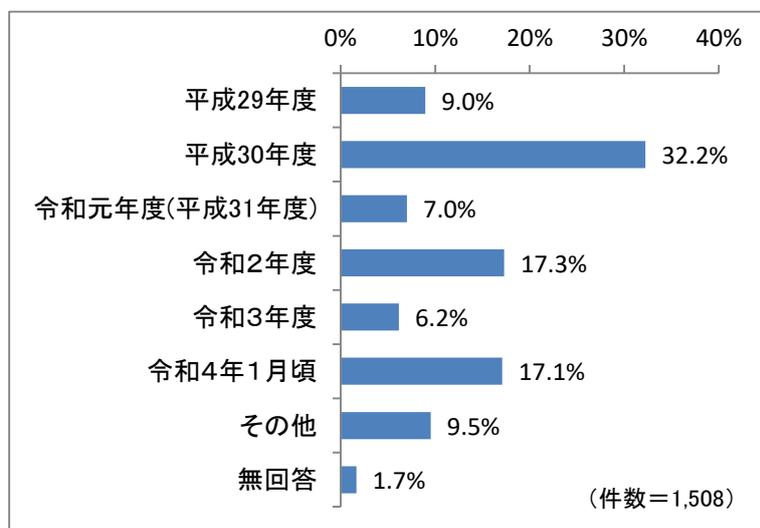


4 新庁舎整備について知った時期

【問5で「1：知っていた」を選んだ方にお聞きします。】

問5-1 いつ頃知ったかを教えてください。(○は1つ)

新庁舎整備について知った時期は、「平成30年度【広報みのかも「新庁舎整備 NEWS」掲載などを実施】」(32.2%)が最も高く、次いで「令和2年度【広報みのかも「新庁舎整備 NEWS」掲載などを実施】」(17.3%)、「令和4年1月頃【美濃加茂市長選挙】」(17.1%)が高くなっています。「その他」(9.5%)の内訳は、「忘れた、覚えていない」が多くなっています。

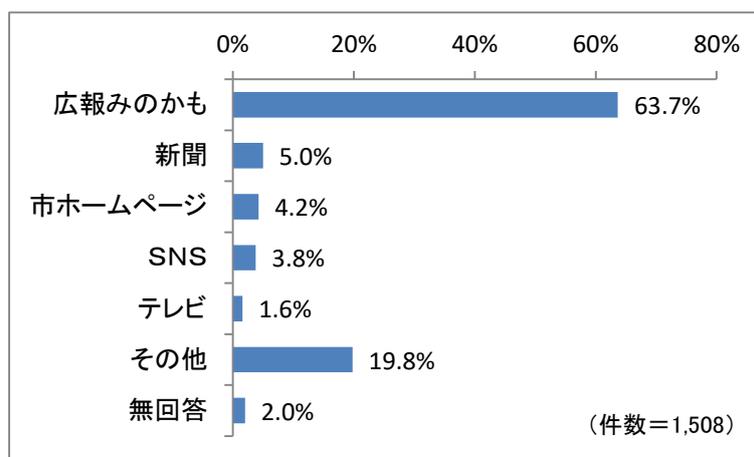


5 新庁舎整備について知った媒体

【問5で「1：知っていた」を選んだ方にお聞きします。】

問5-2 何で知ったかを教えてください。（○は1つ）

新庁舎整備について知った媒体は、「広報みのかも」（63.7%）が最も高く、次いで「その他」（19.8%）、「新聞」（5.0%）、「市ホームページ」（4.2%）、「SNS」（3.8%）となっています。「その他」の内訳は、「知り合い、友人」、「家族」、「噂、人づて」等が多くなっています。

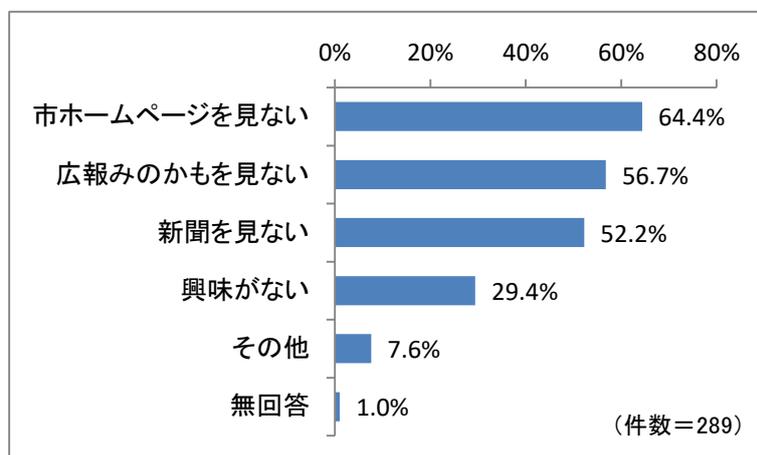


6 新庁舎整備について知らなかった理由

【問5で「2：知らなかった」を選んだ方にお聞きします。】

問5-3 知らなかった理由を教えてください。（○はいくつでも可）

新庁舎整備について知らなかった理由は、「市ホームページを見ない」（64.4%）が最も高く、次いで「広報みのかもを見ない」（56.7%）、「新聞を見ない」（52.2%）、「興味がない」（29.4%）となっています。



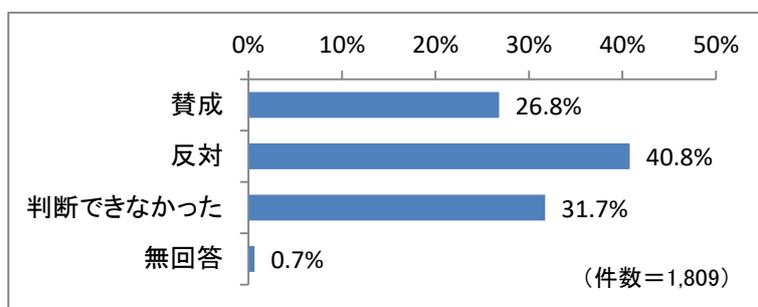
7 美濃太田駅周辺整備地への賛否

問6 美濃太田駅周辺を新庁舎の整備地とした（旧）新庁舎整備基本計画を見直すことになりました。見直しとなった（旧）新庁舎整備基本計画の内容に賛成でしたか、反対でしたか。判断できなかった場合は『3：判断できなかった』を選択してください。

なお、問5で『2：知らなかった』を選んだ方は、同封の資料や市ホームページ等の情報に基づきご回答をお願いします。

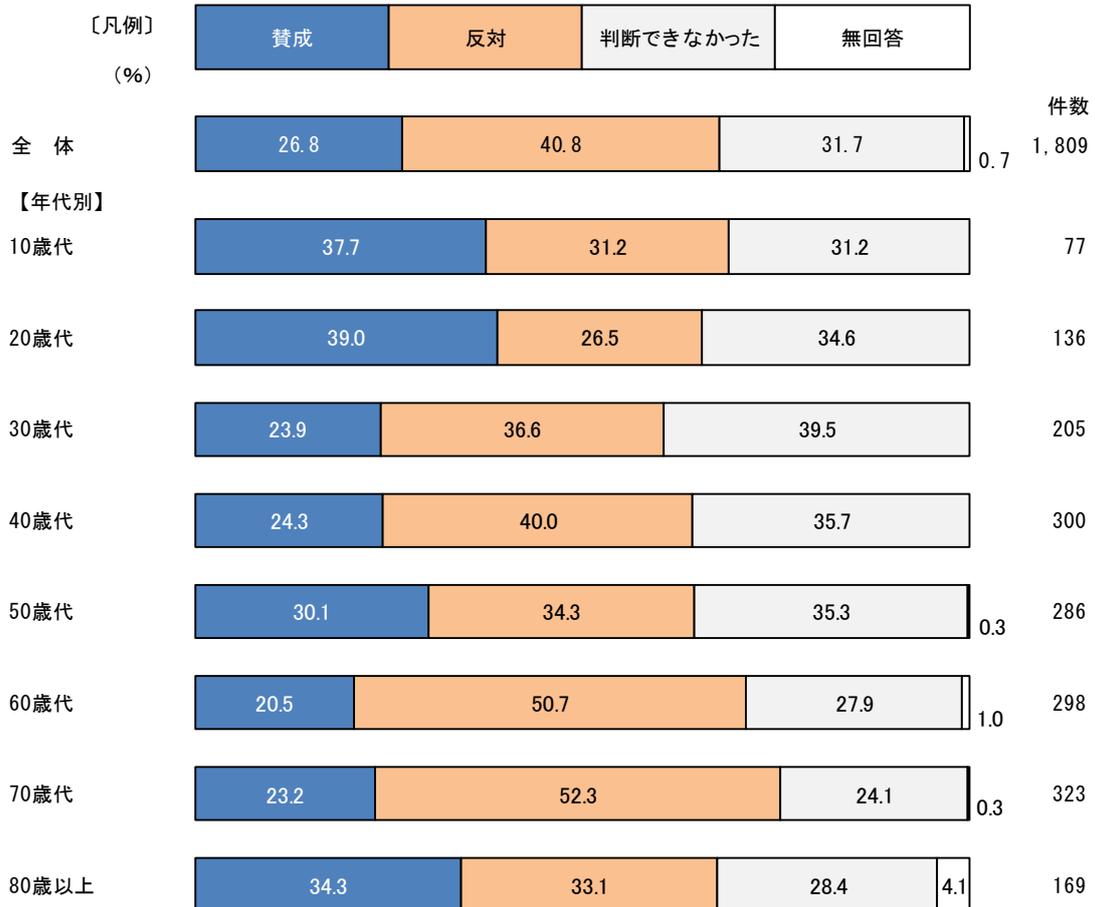
※同封資料（旧）新庁舎整備基本計画（概要版）の「1 はじめに」の表「②美濃太田駅周辺」部分などをご参照ください。

美濃太田駅周辺を新庁舎の整備地とする計画に対しては、「反対」（40.8%）が最も高く、次いで「判断できなかった」（31.7%）、「賛成」（26.8%）となっています。



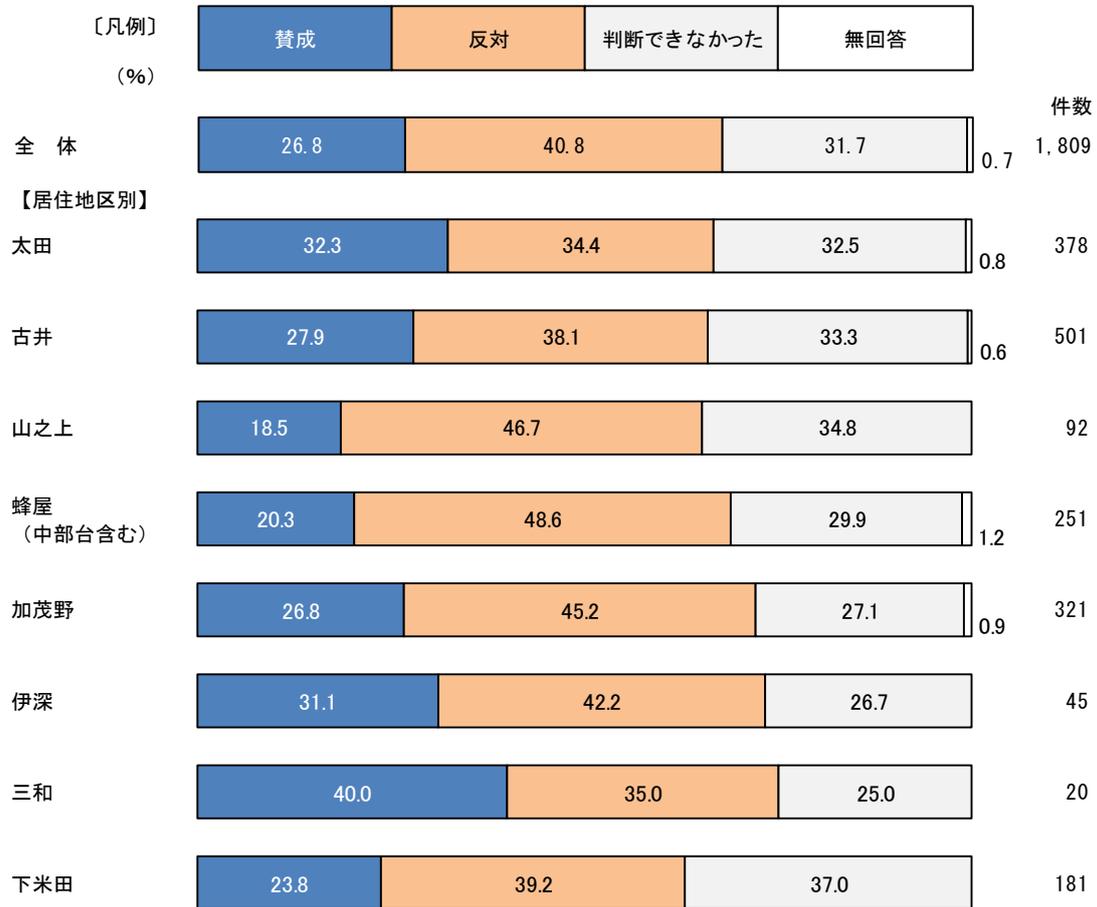
【年代別】

年代別でみると、60歳代・70歳代では「反対」が過半数を占め、「賛成」との差が約30ポイントと大きくなっています。また、30歳代～50歳代では「判断できなかった」が高くなっていますが、「反対」は「賛成」を上回っています。一方、10歳代・20歳代・80歳以上では「賛成」が最も高く、「反対」を上回っています。



【居住地区別】

居住地区別でみると、三和では「賛成」が「反対」を上回っていますが、その他の地区ではいずれも「反対」が「賛成」を上回っています。「反対」と「賛成」との差は、山之上・蜂屋で約 30 ポイントと大きくなっています。



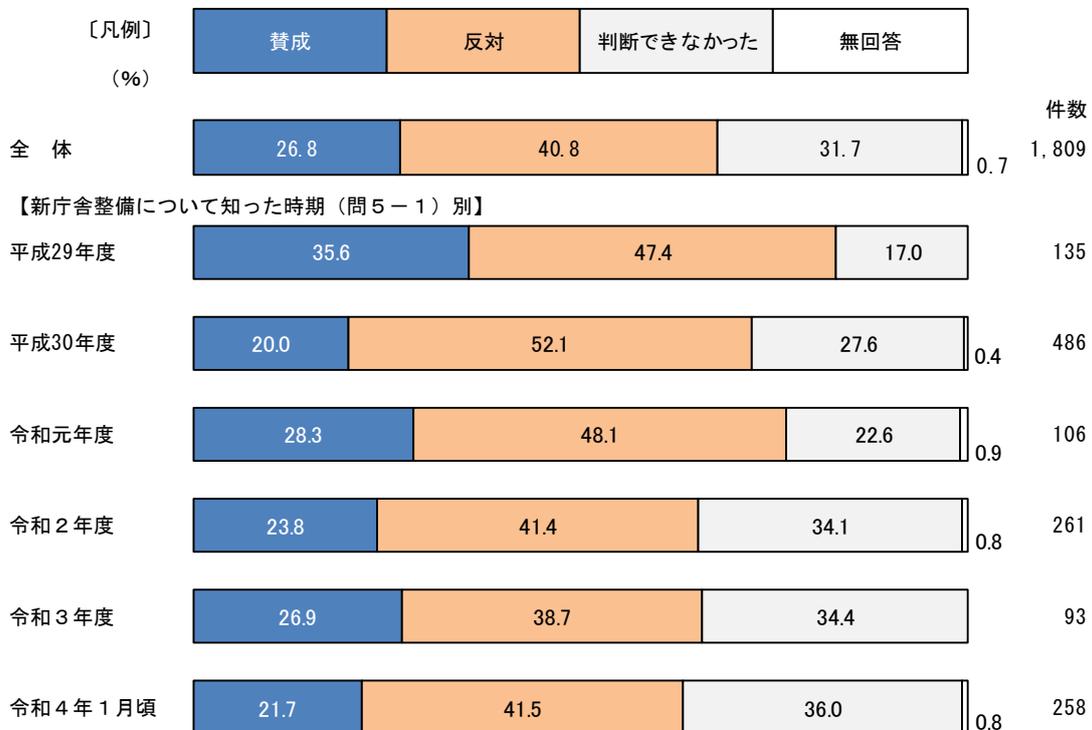
【新庁舎整備の認知度（問5）別】

新庁舎整備の認知度別で見ると、整備について知っていた人では「反対」（46.0%）が「賛成」を上回って最も高く、整備について知らなかった人では「賛成」（42.9%）が「反対」を上回って最も高くなっています。



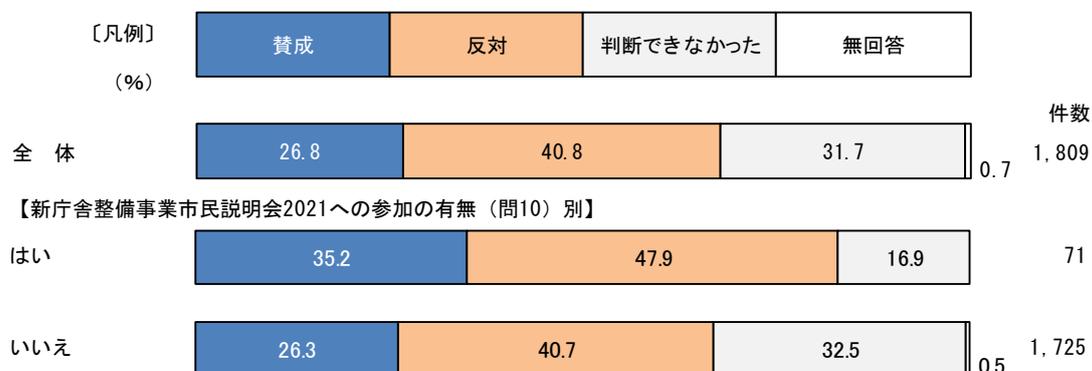
【新庁舎整備について知った時期（問5-1）別】

新庁舎整備について知った時期別で見ると、いずれの時期でも「反対」が「賛成」を上回って最も高くなっています。



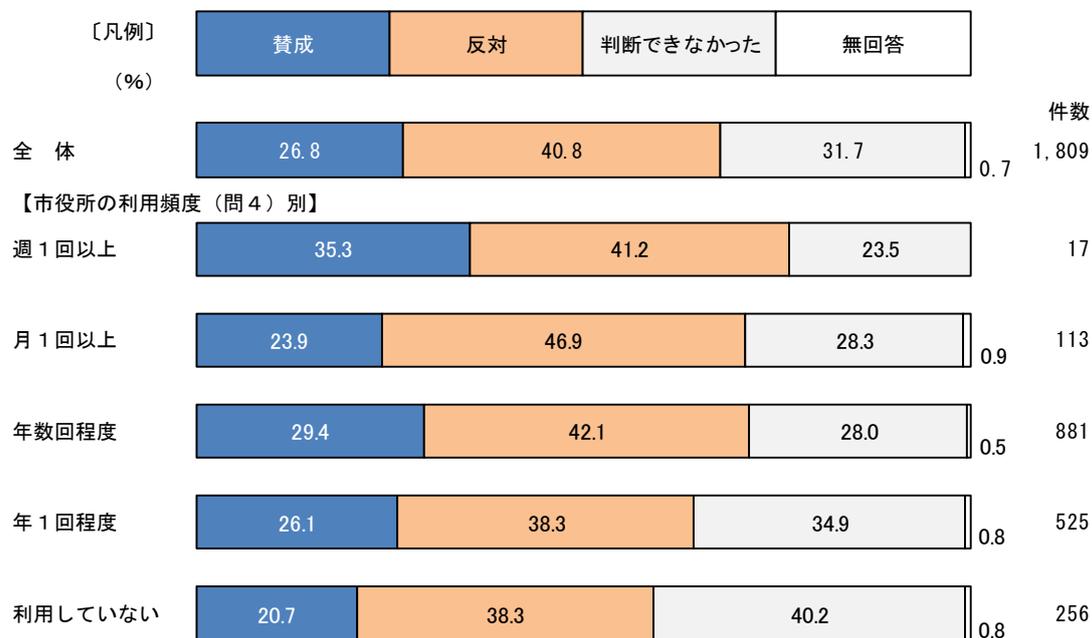
【新庁舎整備事業市民説明会 2021 への参加の有無（問 10） 別】

市民説明会への参加の有無別で見ると、参加の有無にかかわらず「反対」が「賛成」を上回って最も高くなっています。参加しなかった（「いいえ」と回答した）人では「判断できなかった」（32.5%）が「賛成」（26.3%）を上回っています。



【市役所の利用頻度（問 4） 別】

市役所の利用頻度別で見ると、利用頻度が高いほど「判断できなかった」が概ね低くなっています。

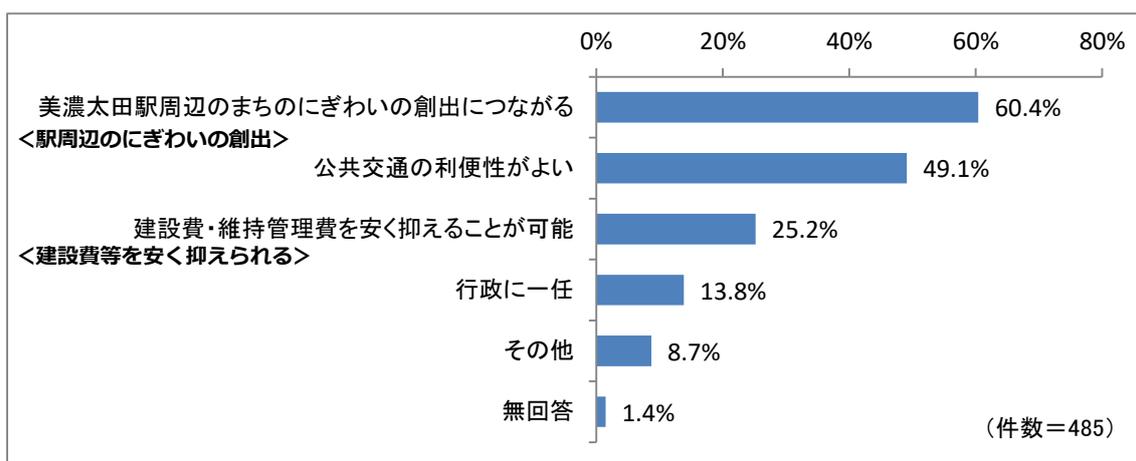


8 美濃太田駅周辺整備地に賛成した理由

【問6で「1：賛成」を選んだ方にお聞きします。】

問6-1 賛成の理由を教えてください。（〇はいくつでも可）

美濃太田駅周辺整備地に賛成した理由は、「美濃太田駅周辺のまちのにぎわいの創出につながる」（60.4%）が最も高く、次いで「公共交通の利便性がよい」（49.1%）、「建設費・維持管理費を安く抑えることが可能」（25.2%）となっています。



【年代別】

年代別でみると、70歳代では「公共交通の利便性がよい」が最も高く、その他の年代ではいずれも「駅周辺のにぎわいの創出」が最も高くなっています。また、60歳では「建設費等を安く抑えられる」が2番目に高く、割合も約50%と高くなっています。

年代	第1位	第2位	第3位
10歳代 (件数=29)	駅周辺のにぎわいの創出 (65.5%)	公共交通の利便性がよい (51.7%)	行政に一任 (20.7%)
20歳代 (件数=53)	駅周辺のにぎわいの創出 (52.8%)	公共交通の利便性がよい (41.5%)	建設費等を安く抑えられる (17.0%)
30歳代 (件数=49)	駅周辺のにぎわいの創出 (65.3%)	公共交通の利便性がよい (51.0%)	建設費等を安く抑えられる (30.6%)
40歳代 (件数=73)	駅周辺のにぎわいの創出 (60.3%)	公共交通の利便性がよい (43.8%)	建設費等を安く抑えられる (16.4%)
50歳代 (件数=86)	駅周辺のにぎわいの創出 (53.5%)	公共交通の利便性がよい (47.7%)	行政に一任 (20.9%)
60歳代 (件数=81)	駅周辺のにぎわいの創出 (67.2%)	建設費等を安く抑えられる (50.8%)	公共交通の利便性がよい (49.2%)
70歳代 (件数=75)	公共交通の利便性がよい (60.0%)	駅周辺のにぎわいの創出 (57.3%)	建設費等を安く抑えられる (28.0%)
80歳以上 (件数=58)	駅周辺のにぎわいの創出 (69.0%)	公共交通の利便性がよい (48.3%)	建設費等を安く抑えられる (24.1%)

【居住地区別】

居住地区別でみると、古井では「公共交通の利便性がよい」が「駅周辺のにぎわいの創出」と同率で最も高くなっていますが、三和以外のすべての地区で「駅周辺のにぎわいの創出」が最も高くなっています。

居住地区	第1位	第2位	第3位
太田 (件数=122)	駅周辺のにぎわいの創出 (73.0%)	公共交通の利便性がよい (58.2%)	建設費等を安く抑えられる (23.0%)
古井 (件数=140)	駅周辺のにぎわいの創出、公共交通の利便性がよい (同率 57.9%)		建設費等を安く抑えられる (25.0%)
山之上 (件数=17)	駅周辺のにぎわいの創出 (70.6%)	建設費等を安く抑えられる (29.4%)	公共交通の利便性がよい (23.5%)
蜂屋(中部台含む) (件数=51)	駅周辺のにぎわいの創出 (58.8%)	公共交通の利便性がよい (45.1%)	建設費等を安く抑えられる (19.6%)
加茂野 (件数=86)	駅周辺のにぎわいの創出 (48.8%)	公共交通の利便性がよい (37.2%)	建設費等を安く抑えられる (34.9%)
伊深 (件数=14)	駅周辺のにぎわいの創出 (57.1%)	公共交通の利便性がよい (42.9%)	建設費等を安く抑えられる (28.6%)
三和 (件数=8)	公共交通の利便性がよい (62.5%)	駅周辺のにぎわいの創出 (37.5%)	建設費等を安く抑えられる (25.0%)
下米田 (件数=43)	駅周辺のにぎわいの創出 (60.5%)	公共交通の利便性がよい (37.2%)	建設費等を安く抑えられる (18.6%)

【市役所の利用頻度（問4）別】

市役所の利用頻度別でみると、大きな差はみられませんでした。

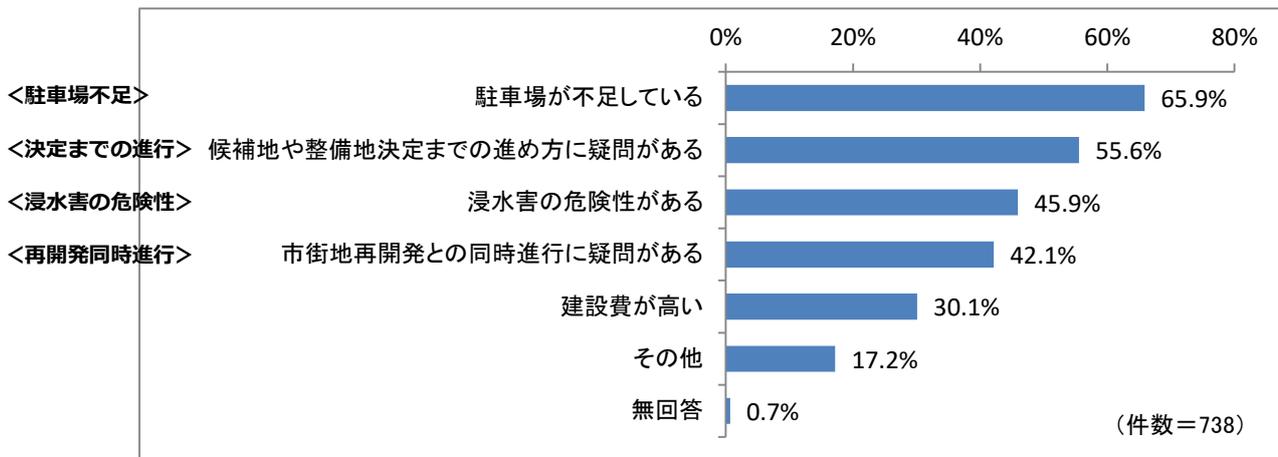
市役所の利用頻度	第1位	第2位	第3位
週1回以上 (件数=6)	駅周辺のにぎわいの創出、公共交通の利便性がよい (同率 50.0%)		建設費等を安く抑えられる (33.3%)
月1回以上 (件数=27)	駅周辺のにぎわいの創出 (81.5%)	公共交通の利便性がよい (55.6%)	建設費等を安く抑えられる (48.1%)
年数回程度 (件数=259)	駅周辺のにぎわいの創出 (60.6%)	公共交通の利便性がよい (51.0%)	建設費等を安く抑えられる (26.6%)
年1回程度 (件数=137)	駅周辺のにぎわいの創出 (56.2%)	公共交通の利便性がよい (50.4%)	建設費等を安く抑えられる (21.2%)
利用していない (件数=53)	駅周辺のにぎわいの創出 (60.4%)	公共交通の利便性がよい (35.8%)	建設費等を安く抑えられる 行政に一任 (同率 15.1%)

9 美濃太田駅周辺整備地に反対した理由

【問6で「2：反対」を選んだ方にお聞きします。】

問6-2 反対の理由を教えてください。（○はいくつでも可）

美濃太田駅周辺整備地に反対した理由は、「駐車場が不足している」（65.9%）が最も高く、次いで「候補地や整備地決定までの進め方に疑問がある」（55.6%）、「浸水害の危険性がある」（45.9%）、「市街地再開発との同時進行に疑問がある」（42.1%）となっています。



【年代別】

年代別でみると、70歳代では「決定までの進行」が最も高く、その他の年代ではいずれも「駐車場不足」が最も高くなっています。また、10歳代では「浸水害の危険性」も「駐車場不足」と同率で最も高くなっています。

年代	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
10歳代 (件数=24)	駐車場不足、浸水害の危険性 (同率 58.3%)		決定までの進行、建設費が高い (同率 33.3%)		再開発同時進行 (25.0%)
20歳代 (件数=36)	駐車場不足 (55.6%)	浸水害の危険性 (47.2%)	決定までの進行 (38.9%)	建設費が高い (36.1%)	再開発同時進行 (30.6%)
30歳代 (件数=75)	駐車場不足 (58.7%)	決定までの進行 (41.3%)	浸水害の危険性 (36.0%)	再開発同時進行 (33.3%)	建設費が高い (32.0%)
40歳代 (件数=120)	駐車場不足 (65.0%)	決定までの進行、浸水害の危険性 (同率 45.0%)		建設費が高い (35.0%)	再開発同時進行 (30.8%)
50歳代 (件数=98)	駐車場不足 (71.4%)	決定までの進行、浸水害の危険性 (同率 55.1%)		再開発同時進行 (51.0%)	建設費が高い (30.6%)
60歳代 (件数=151)	駐車場不足 (70.9%)	決定までの進行 (63.6%)	浸水害の危険性、再開発同時進行 (同率 49.0%)		建設費が高い (30.5%)
70歳代 (件数=169)	決定までの進行 (71.0%)	駐車場不足 (66.9%)	再開発同時進行 (49.7%)	浸水害の危険性 (45.0%)	建設費が高い (22.5%)
80歳以上 (件数=56)	駐車場不足 (58.9%)	決定までの進行 (46.4%)	再開発同時進行 (37.5%)	浸水害の危険性 (32.1%)	建設費が高い (30.4%)

【居住地区別】

居住地区別でみると、三和以外の地区ではいずれも「駐車場不足」が最も高くなっています。

居住地区	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
太田 (件数=130)	駐車場不足 (65.4%)	決定までの進行 (57.7%)	浸水害の危険性 (43.8%)	再開発同時進行 (37.7%)	建設費が高い (31.5%)
古井 (件数=191)	駐車場不足 (63.9%)	決定までの進行 (55.5%)	浸水害の危険性 (44.5%)	再開発同時進行 (44.0%)	建設費が高い (24.6%)
山之上 (件数=43)	駐車場不足 (67.4%)	決定までの進行 (55.8%)	再開発同時進行 (44.2%)	浸水害の危険性 (39.5%)	建設費が高い (32.6%)
蜂屋(中部台含む) (件数=122)	駐車場不足 (62.3%)	決定までの進行 (54.9%)	浸水害の危険性 (53.3%)	再開発同時進行 (38.5%)	建設費が高い (32.0%)
加茂野 (件数=145)	駐車場不足 (69.7%)	決定までの進行 (56.6%)	浸水害の危険性 (53.1%)	再開発同時進行 (45.5%)	建設費が高い (31.0%)
伊深 (件数=19)	駐車場不足 (68.4%)	再開発同時進行 (42.1%)	浸水害の危険性、 その他 (同率 36.8%)	決定までの進行 (31.6%)	
三和 (件数=7)	再開発同時進行 (71.4%)	駐車場不足、決定までの進行 (同率 57.1%)		浸水害の危険性 (42.9%)	建設費が高い (28.6%)
下米田 (件数=71)	駐車場不足 (67.6%)	決定までの進行 (54.9%)	再開発同時進行 (40.8%)	建設費が高い (35.2%)	浸水害の危険性 (33.8%)

【市役所の利用頻度（問4）別】

市役所の利用頻度別でみると、大きな差はみられませんでした。

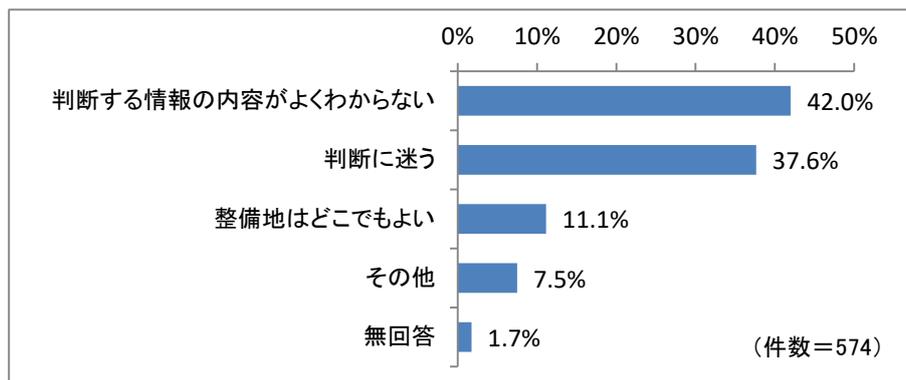
市役所の 利用頻度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
週1回以上 (件数=7)	駐車場不足 (71.4%)	決定までの進行 (42.9%)	浸水害の危険性、 再開発同時進行 (同率 28.6%)	建設費が高い (14.3%)	
月1回以上 (件数=53)	駐車場不足 (73.6%)	決定までの進行 (69.8%)	再開発同時進行 (50.9%)	浸水害の危険性 (45.3%)	建設費が高い (32.1%)
年数回程度 (件数=371)	駐車場不足 (65.2%)	決定までの進行 (54.7%)	浸水害の危険性 (48.2%)	再開発同時進行 (44.5%)	建設費が高い (29.9%)
年1回程度 (件数=201)	駐車場不足 (69.2%)	決定までの進行 (53.7%)	浸水害の危険性 (43.8%)	再開発同時進行 (38.3%)	建設費が高い (28.9%)
利用していない (件数=98)	駐車場不足 (57.1%)	決定までの進行 (54.1%)	浸水害の危険性 (41.8%)	再開発同時進行 (38.8%)	建設費が高い (33.7%)

10 美濃太田駅周辺整備地について判断できなかった理由

【問6で「3：判断できなかった」を選んだ方にお聞きします。】

問6-3 判断ができなかった理由を教えてください。（○は1つ）

美濃太田駅周辺整備地について判断できなかった理由は、「判断する情報の内容がよくわからない」（42.0%）が最も高く、次いで「判断に迷う」（37.6%）、「整備地はどこでもよい」（11.1%）となっています。

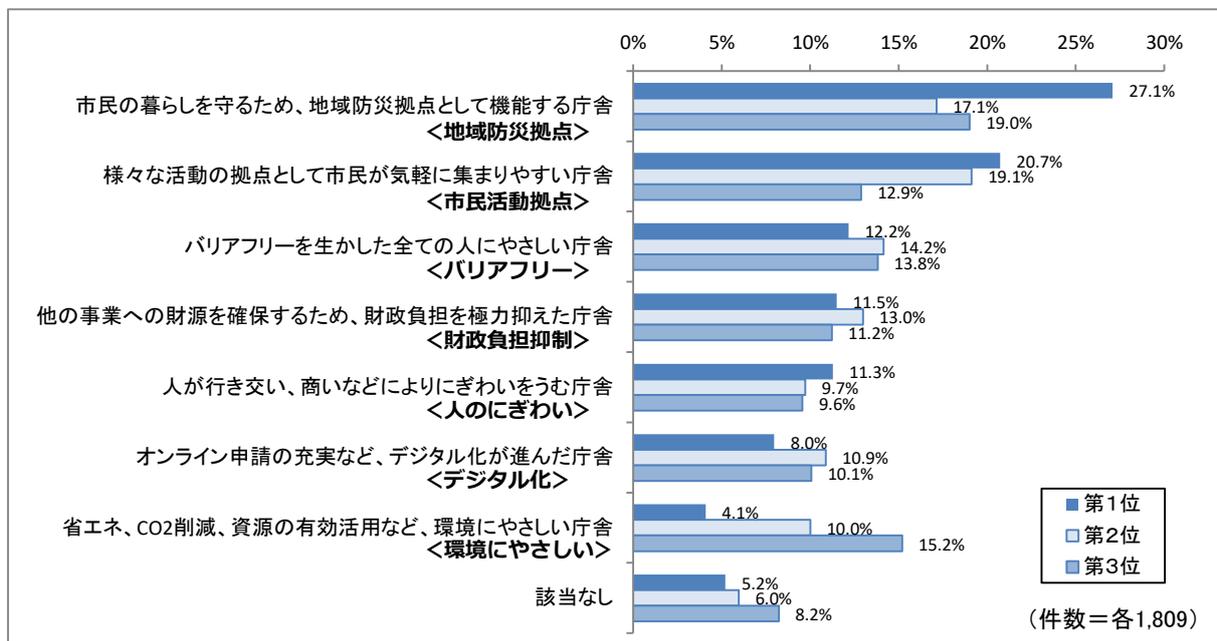


11 新庁舎整備において大切にすべき視点

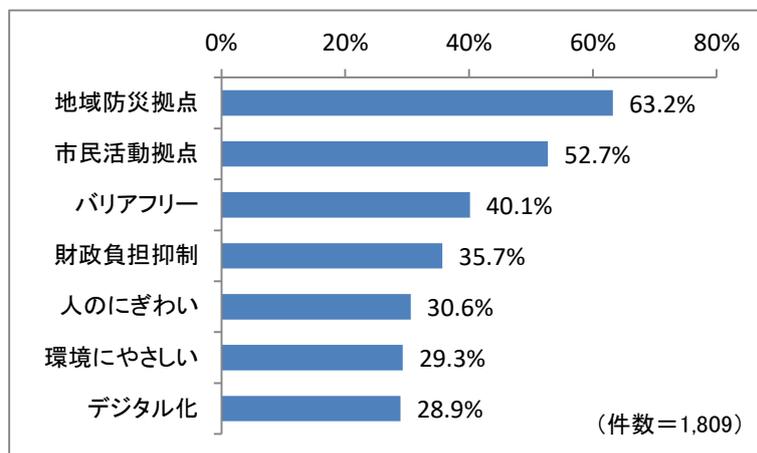
問7 新庁舎整備において最も大切にすべき視点は次のうちどれでしょうか。あてはまるものを3つまで選び、大切だと思う順に番号を記入してください。

※同封資料（旧）新庁舎整備基本構想（概要版）の「3 新しい市役所のかたち」部分などをご参照ください。

新庁舎整備において大切にすべき視点の第1位は、「市民の暮らしを守るため、地域防災拠点として機能する庁舎<地域防災拠点>」（27.1%）が最も高く、次いで「様々な活動の拠点として市民が気軽に集まりやすい庁舎<市民活動拠点>」（20.7%）、「バリアフリーを生かした全ての人にやさしい庁舎<バリアフリー>」（12.2%）となっています。



第1位から第3位の合計では、「地域防災拠点」（63.2%）が最も高く、次いで「市民活動拠点」（52.7%）、「バリアフリー」（40.1%）となっています。



【年代別】

年代別でみると、10歳代では「市民活動拠点」が最も高く、20歳代以上ではいずれの年代でも「地域防災拠点」が最も高くなっています。また、10歳代～40歳代では「デジタル化」が、50歳代～70歳代では「環境にやさしい」が、30歳代以上では「財政負担抑制」がそれぞれ5位以内にあがっています。

年代	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
10歳代 (件数=77)	市民活動拠点 (57.1%)	バリアフリー (55.8%)	地域防災拠点 (54.5%)	人のにぎわい (42.9%)	デジタル化 (27.3%)
20歳代 (件数=136)	地域防災拠点 (49.3%)	バリアフリー、デジタル化 (同率 48.5%)		人のにぎわい、市民活動拠点 (同率 41.2%)	
30歳代 (件数=205)	地域防災拠点 (56.1%)	デジタル化 (47.3%)	市民活動拠点 (44.4%)	財政負担抑制 (39.5%)	バリアフリー (37.1%)
40歳代 (件数=300)	地域防災拠点 (67.0%)	市民活動拠点 (57.3%)	財政負担抑制 (37.3%)	バリアフリー (36.7%)	デジタル化 (32.3%)
50歳代 (件数=286)	地域防災拠点 (64.0%)	市民活動拠点 (50.3%)	バリアフリー (39.9%)	財政負担抑制 (34.6%)	環境にやさしい (32.9%)
60歳代 (件数=298)	地域防災拠点 (67.1%)	市民活動拠点 (53.0%)	財政負担抑制 (41.3%)	バリアフリー (36.2%)	環境にやさしい (29.5%)
70歳代 (件数=323)	地域防災拠点 (68.7%)	市民活動拠点 (55.4%)	バリアフリー (41.5%)	財政負担抑制 (36.5%)	環境にやさしい (30.0%)
80歳以上 (件数=169)	地域防災拠点 (62.1%)	市民活動拠点 (60.9%)	バリアフリー (42.0%)	人のにぎわい (33.7%)	財政負担抑制 (27.2%)

【居住地区別】

居住地区別でみると、山之上では「市民活動拠点」が最も高くなっています。また、太田、伊深では「人のにぎわい」が、蜂屋（中部台含む）、伊深、下米田では「デジタル化」がそれぞれ5位以内にあがっています。

居住地区	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
太田 (件数=378)	地域防災拠点 (64.3%)	市民活動拠点 (54.0%)	バリアフリー (40.5%)	人のにぎわい (38.6%)	財政負担抑制 (30.7%)
古井 (件数=501)	地域防災拠点 (60.7%)	市民活動拠点 (53.5%)	バリアフリー (44.1%)	財政負担抑制 (35.7%)	環境にやさしい (30.3%)
山之上 (件数=92)	市民活動拠点 (59.8%)	地域防災拠点 (58.7%)	財政負担抑制 (39.1%)	バリアフリー (38.0%)	環境にやさしい (34.8%)
蜂屋（中部台含む） (件数=251)	地域防災拠点 (68.9%)	市民活動拠点 (50.6%)	バリアフリー (37.8%)	財政負担抑制 (35.9%)	デジタル化 (30.7%)
加茂野 (件数=321)	地域防災拠点 (62.3%)	市民活動拠点 (53.6%)	財政負担抑制 (38.3%)	バリアフリー (37.1%)	環境にやさしい (30.8%)
伊深 (件数=45)	地域防災拠点 (68.9%)	市民活動拠点 (60.0%)	人のにぎわい (40.0%)	バリアフリー、環境にやさしい、 デジタル化 (同率 28.9%)	
三和 (件数=20)	地域防災拠点、市民活動拠点 (同率 55.0%)		バリアフリー、環境にやさしい (同率 45.0%)		財政負担抑制 (25.0%)
下米田 (件数=181)	地域防災拠点 (64.1%)	市民活動拠点 (44.8%)	バリアフリー (42.0%)	財政負担抑制 (40.9%)	デジタル化 (32.6%)

【国籍別】

国籍別でみると、フィリピン国籍では「バリアフリー」が最も高く、フィリピン国籍及びブラジル国籍では「デジタル化」「環境にやさしい」が上位にあがっています。

国籍	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
日本 (件数=1,745)	地域防災拠点 (63.4%)	市民活動拠点 (53.2%)	バリアフリー (40.2%)	財政負担抑制 (35.8%)	人のにぎわい (30.7%)
フィリピン (件数=22)	バリアフリー (68.2%)	地域防災拠点 (54.5%)	環境にやさしい、デジタル化 (同率 40.9%)		人のにぎわい (27.3%)
ブラジル (件数=22)	地域防災拠点 (68.2%)	市民活動拠点 (50.0%)	デジタル化 (40.9%)	財政負担抑制 (31.8%)	人のにぎわい、 環境にやさしい (同率 22.7%)

【新庁舎整備の認知度（問5）別】

新庁舎整備の認知度別でみると、整備について知っていた人では「市民活動拠点」「財政負担抑制」の割合が高く、整備について知らなかった人では「バリアフリー」「人のにぎわい」「デジタル化」の割合が高くなっています。

新庁舎整備の認知度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
知っていた (件数=1,508)	地域防災拠点 (64.6%)	市民活動拠点 (54.2%)	バリアフリー (38.6%)	財政負担抑制 (37.1%)	環境にやさしい (29.6%)
知らなかった (件数=289)	地域防災拠点 (56.7%)	バリアフリー (47.8%)	市民活動拠点 (45.7%)	人のにぎわい (37.0%)	デジタル化 (34.9%)

【新庁舎整備について知った時期（問5-1）別】

新庁舎整備について知った時期別でみると、平成29年度に知った人では「市民活動拠点」が最も高くなっています。また、令和4年1月頃に知った人では「デジタル化」が高くなっています。

新庁舎整備について知った時期	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成29年度 (件数=135)	市民活動拠点 (64.4%)	地域防災拠点 (61.5%)	人のにぎわい、財政負担抑制 (同率 37.0%)		バリアフリー (28.9%)
平成30年度 (件数=486)	地域防災拠点 (65.2%)	市民活動拠点 (55.1%)	バリアフリー (43.8%)	財政負担抑制 (35.4%)	人のにぎわい (30.0%)
令和元年度 (件数=106)	地域防災拠点 (68.9%)	市民活動拠点 (54.7%)	財政負担抑制 (48.1%)	環境にやさしい (36.8%)	バリアフリー (34.9%)
令和2年度 (件数=261)	地域防災拠点 (62.8%)	市民活動拠点 (54.4%)	財政負担抑制 (41.0%)	バリアフリー (36.8%)	環境にやさしい (31.0%)
令和3年度 (件数=93)	地域防災拠点 (62.4%)	市民活動拠点 (52.7%)	バリアフリー (45.2%)	財政負担抑制 (35.5%)	人のにぎわい (28.0%)
令和4年1月頃 (件数=258)	地域防災拠点 (69.0%)	市民活動拠点 (52.7%)	財政負担抑制 (36.8%)	デジタル化 (36.4%)	バリアフリー (34.9%)

【新庁舎整備事業市民説明会 2021 への参加の有無（問 10）別】

市民説明会への参加の有無別でみると、参加した（「はい」と回答した）人では「デジタル化」が高くなっています。

市民説明会への参加の有無	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
はい (件数=71)	地域防災拠点 (59.2%)	市民活動拠点 (52.1%)	財政負担抑制 (38.0%)	デジタル化 (35.2%)	人のにぎわい、 環境にやさしい (同率 28.2%)
いいえ (件数=1,725)	地域防災拠点 (63.6%)	市民活動拠点 (53.0%)	バリアフリー (40.8%)	財政負担抑制 (35.8%)	人のにぎわい (30.8%)

【市役所の利用頻度（問 4）別】

市役所の利用頻度別でみると、週 1 回以上利用する人では「デジタル化」が高くなっています。

市役所の利用頻度	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
週 1 回以上 (件数=17)	地域防災拠点 (58.8%)	市民活動拠点、バリアフリー、デジタル化 (同率 47.1%)			環境にやさしい (35.3%)
月 1 回以上 (件数=113)	地域防災拠点 (60.2%)	市民活動拠点 (59.3%)	バリアフリー (33.6%)	人のにぎわい (32.7%)	財政負担抑制 (30.1%)
年数回程度 (件数=881)	地域防災拠点 (62.0%)	市民活動拠点 (54.1%)	バリアフリー (41.9%)	財政負担抑制 (34.7%)	人のにぎわい (31.7%)
年 1 回程度 (件数=525)	地域防災拠点 (65.5%)	市民活動拠点 (49.9%)	バリアフリー (38.3%)	財政負担抑制 (37.5%)	デジタル化 (30.9%)
利用していない (件数=256)	地域防災拠点 (64.1%)	市民活動拠点 (51.6%)	バリアフリー (41.0%)	財政負担抑制 (37.1%)	環境にやさしい (30.9%)

【オンライン説明会への参加意向（問 12）別】

オンライン説明会への参加意向別でみると、参加意向のある（「はい」と回答した）人では「デジタル化」が高くなっています。

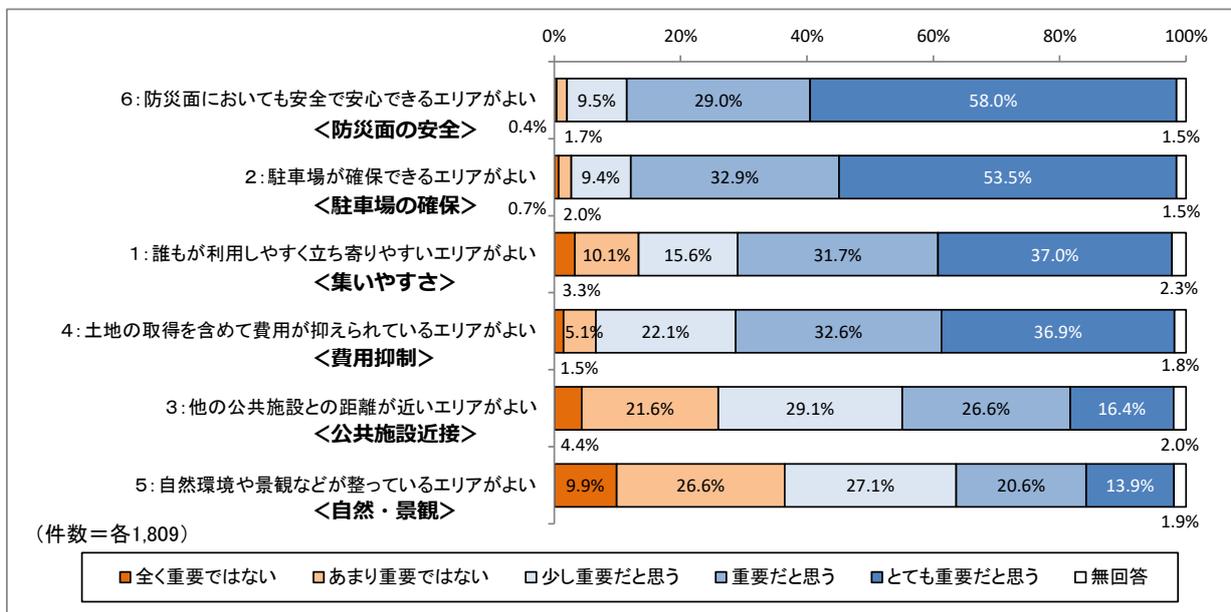
オンライン説明会への参加意向	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
はい (件数=756)	地域防災拠点 (62.2%)	市民活動拠点 (52.9%)	デジタル化 (40.7%)	バリアフリー (36.0%)	財政負担抑制 (34.3%)
いいえ (件数=963)	地域防災拠点 (64.2%)	市民活動拠点 (52.6%)	バリアフリー (44.1%)	財政負担抑制 (37.2%)	環境にやさしい (31.4%)

12 新庁舎の建設エリアで重要視する内容

問8 新庁舎を建設するエリアを選ぶうえで以下についてどのくらい重要だと思いますか。それぞれの重要度について点数を選んでください。（それぞれに○は1つ）

※同封資料（旧）新庁舎整備基本構想（概要版）の「3 新しい市役所のかたち」部分などをご参照ください。

新庁舎の建設エリアの内容について重要度をみると、「とても重要だと思う」が最も高くなっている内容は、「防災面においても安全で安心できるエリアがよい<防災面の安全>」（58.0%）、「駐車場が確保できるエリアがよい<駐車場の確保>」（53.5%）、「誰もが利用しやすく立ち寄りやすいエリアがよい<集いやすさ>」（37.0%）、「土地の取得を含めて費用が抑えられているエリアがよい<費用抑制>」（36.9%）となっています。



「とても重要だと思う」を5点、「重要だと思う」を4点、「少し重要だと思う」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「全く重要ではない」を1点として平均点を計算すると、「防災面の安全」（4.45点）が最も高く、次いで「駐車場の確保」（4.38点）、「費用抑制」（4.00点）、「集いやすさ」（3.91点）となっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
平均点 (市民)	防災面の安全 4.45	駐車場の確保 4.38	費用抑制 4.00	集いやすさ 3.91	公共施設近接 3.30	自然・景観 3.02

【年代別】

平均点を年代別で見ると、30歳代・40歳代では「駐車場の確保」が最も高く、他の年代では「防災面の安全」が最も高くなっています。また、40歳代以下及び80歳以上では「集いやすさ」が「費用抑制」を上回っています。

年代	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
10歳代 (件数=77)	防災面の安全 4.66	駐車場の確保 4.29	集いやすさ 4.23	費用抑制 3.97	公共施設近接 3.64	自然・景観 3.29
20歳代 (件数=136)	防災面の安全 4.49	駐車場の確保 4.47	集いやすさ 4.15	費用抑制 3.98	公共施設近接 3.64	自然・景観 3.07
30歳代 (件数=205)	駐車場の確保 4.41	防災面の安全 4.40	集いやすさ 4.06	費用抑制 3.94	公共施設近接 3.36	自然・景観 2.75
40歳代 (件数=300)	駐車場の確保 4.54	防災面の安全 4.46	集いやすさ 4.01	費用抑制 3.86	公共施設近接 3.26	自然・景観 2.81
50歳代 (件数=286)	防災面の安全 4.40	駐車場の確保 4.39	費用抑制 3.98	集いやすさ 3.89	公共施設近接 3.20	自然・景観 2.93
60歳代 (件数=298)	防災面の安全 4.45	駐車場の確保 4.39	費用抑制 4.18	集いやすさ 3.72	公共施設近接 3.08	自然・景観 3.08
70歳代 (件数=323)	防災面の安全 4.43	駐車場の確保 4.26	費用抑制 4.09	集いやすさ 3.73	公共施設近接 3.23	自然・景観 3.21
80歳以上 (件数=169)	防災面の安全 4.44	駐車場の確保 4.21	集いやすさ 3.94	費用抑制 3.88	公共施設近接 3.56	自然・景観 3.31

【居住地区別】

居住地区別で見ると、太田、伊深では「駐車場の確保」が最も高くなっています。

居住地区	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
太田 (件数=378)	駐車場の確保 4.32	防災面の安全 4.30	費用抑制 3.96	集いやすさ 3.94	公共施設近接 3.41	自然・景観 2.88
古井 (件数=501)	防災面の安全 4.45	駐車場の確保 4.38	費用抑制 4.03	集いやすさ 3.98	公共施設近接 3.31	自然・景観 2.94
山之上 (件数=92)	防災面の安全 4.43	駐車場の確保 4.30	費用抑制 3.91	集いやすさ 3.87	公共施設近接 3.29	自然・景観 3.12
蜂屋(中部台含む) (件数=251)	防災面の安全 4.53	駐車場の確保 4.35	費用抑制 4.03	集いやすさ 3.83	自然・景観 3.24	公共施設近接 3.18
加茂野 (件数=321)	防災面の安全 4.57	駐車場の確保 4.46	費用抑制 3.99	集いやすさ 3.88	公共施設近接 3.26	自然・景観 3.13
伊深 (件数=45)	駐車場の確保 4.51	防災面の安全 4.45	集いやすさ 3.89	費用抑制 3.80	公共施設近接 3.16	自然・景観 3.00
三和 (件数=20)	防災面の安全 4.58	駐車場の確保 4.53	費用抑制 4.16	集いやすさ 3.89	公共施設近接 3.42	自然・景観 3.26
下米田 (件数=181)	防災面の安全 4.42	駐車場の確保 4.40	費用抑制 4.02	集いやすさ 3.89	公共施設近接 3.24	自然・景観 2.96

【国籍別】

国籍別でみると、フィリピン国籍及びブラジル国籍では「集いやすさ」が高くなっています。

国籍	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
日本 (件数=1,745)	防災面の安全 4.44	駐車場の確保 4.38	費用抑制 4.01	集いやすさ 3.90	公共施設近接 3.27	自然・景観 3.01
フィリピン (件数=22)	防災面の安全 4.86	集いやすさ、駐車場の確保 同点 4.64		公共施設近接 4.41	自然・景観 3.73	費用抑制 3.59
ブラジル (件数=22)	防災面の安全 4.43	集いやすさ 4.32	駐車場の確保 4.14	費用抑制 4.05	公共施設近接 3.95	自然・景観 2.52

【新庁舎整備の認知度（問5）別】

新庁舎整備の認知度別でみると、整備について知らなかった人では「集いやすさ」が高くなっています。

新庁舎整備の認知度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
知っていた (件数=1,508)	防災面の安全 4.43	駐車場の確保 4.37	費用抑制 4.00	集いやすさ 3.85	公共施設近接 3.21	自然・景観 2.97
知らなかった (件数=289)	防災面の安全 4.52	駐車場の確保 4.45	集いやすさ 4.23	費用抑制 3.98	公共施設近接 3.74	自然・景観 3.27

【新庁舎整備について知った時期（問5-1）別】

新庁舎整備について知った時期別でみると、平成29年度に知った人及び令和4年1月頃に知った人では「駐車場の確保」が最も高くなっています。

新庁舎整備について知った時期	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
平成29年度 (件数=135)	駐車場の確保 4.25	防災面の安全 4.22	費用抑制 4.02	集いやすさ 4.00	公共施設近接 3.29	自然・景観 2.82
平成30年度 (件数=486)	防災面の安全 4.45	駐車場の確保 4.41	費用抑制 3.98	集いやすさ 3.77	公共施設近接 3.08	自然・景観 2.95
令和元年度 (件数=106)	防災面の安全 4.55	駐車場の確保 4.29	費用抑制 4.03	集いやすさ 3.88	自然・景観 3.18	公共施設近接 3.04
令和2年度 (件数=261)	防災面の安全 4.41	駐車場の確保 4.25	費用抑制 4.07	集いやすさ 3.83	公共施設近接 3.27	自然・景観 2.94
令和3年度 (件数=93)	防災面の安全 4.57	駐車場の確保 4.46	費用抑制 4.08	集いやすさ 3.86	公共施設近接 3.24	自然・景観 3.07
令和4年1月頃 (件数=258)	防災面の安全、駐車場の確保 同点 4.45		費用抑制 3.92	集いやすさ 3.91	公共施設近接 3.35	自然・景観 2.94

【新庁舎整備事業市民説明会 2021 への参加の有無（問 10）別】

市民説明会への参加の有無別でみると、重要視する内容の順位に差はみられませんでした。

市民説明会への参加の有無	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	第 6 位
はい (件数=71)	防災面の安全 4.20	駐車場の確保 4.04	費用抑制 3.93	集いやすさ 3.66	公共施設近接 3.06	自然・景観 3.01
いいえ (件数=1,725)	防災面の安全 4.46	駐車場の確保 4.40	費用抑制 4.00	集いやすさ 3.92	公共施設近接 3.30	自然・景観 3.02

【市役所の利用頻度（問 4）別】

市役所の利用頻度別でみると、週 1 回以上及び月 1 回以上利用する人では「駐車場の確保」が最も高くなっています。

市役所の利用頻度	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	第 6 位
週 1 回以上 (件数=17)	防災面の安全、駐車場の確保 同点 4.29		費用抑制、集いやすさ 同点 4.06		公共施設近接 3.12	自然・景観 2.88
月 1 回以上 (件数=113)	駐車場の確保 4.37	防災面の安全 4.24	費用抑制 4.01	集いやすさ 3.86	公共施設近接 3.35	自然・景観 3.07
年数回程度 (件数=881)	防災面の安全 4.43	駐車場の確保 4.40	費用抑制 4.00	集いやすさ 3.94	公共施設近接 3.29	自然・景観 3.10
年 1 回程度 (件数=525)	防災面の安全 4.50	駐車場の確保 4.37	費用抑制 3.98	集いやすさ 3.91	公共施設近接 3.30	自然・景観 2.91
利用していない (件数=256)	防災面の安全 4.49	駐車場の確保 4.37	費用抑制 4.02	集いやすさ 3.85	公共施設近接 3.29	自然・景観 2.98

【美濃太田駅周辺整備地への賛否（問 6）別】

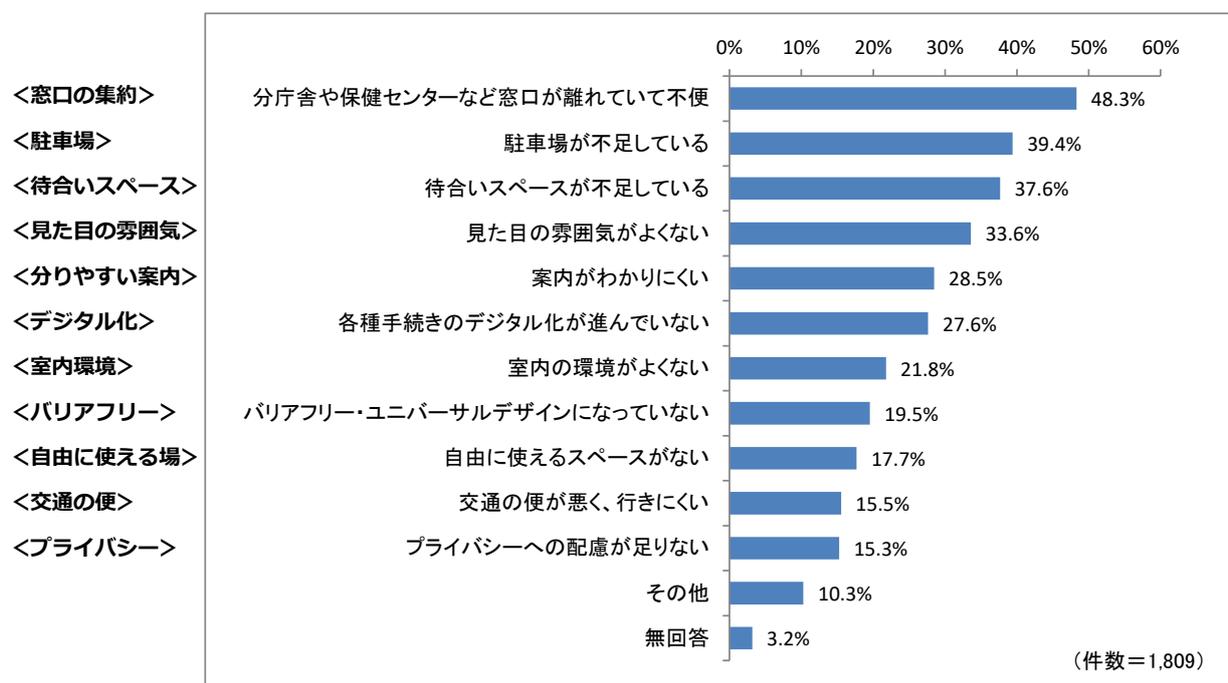
美濃太田駅周辺整備地への賛否別でみると、賛成であった人では「集いやすさ」が最も高くなっています。

美濃太田駅周辺整備地への賛否	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	第 6 位
賛成 (件数=485)	集いやすさ 4.46	防災面の安全 4.31	駐車場の確保 4.28	費用抑制 3.96	公共施設近接 3.70	自然・景観 2.89
反対 (件数=738)	防災面の安全 4.52	駐車場の確保 4.46	費用抑制 4.06	集いやすさ 3.45	自然・景観 3.15	公共施設近接 2.91
判断できなかった (件数=574)	防災面の安全 4.46	駐車場の確保 4.39	集いやすさ 4.05	費用抑制 3.95	公共施設近接 3.44	自然・景観 2.96

13 現在の市役所本庁舎に不足している部分

問9 現在の市役所本庁舎に足りないと感じる部分を教えてください。(○はいくつでも可)

現在の市役所本庁舎に不足している部分は、「分庁舎や保健センターなど窓口が離れていて不便<窓口の集約>」(48.3%)が最も高く、次いで「駐車場が不足している<駐車場>」(39.4%)、「待合スペースが不足している<待合スペース>」(37.6%)、「見た目の雰囲気がよくない<見た目の雰囲気>」(33.6%)、「案内がわかりにくい<分りやすい案内>」(28.5%)、「各種手続きのデジタル化が進んでいない<デジタル化>」(27.6%)となっています。



【年代別】

年代別でみると、20歳代以下では「見た目の雰囲気」、30歳代では「デジタル化」がそれぞれ最も高くなっています。またデジタル化は、20歳代以下では2位になっています。20歳代以下で1位になっている見た目の雰囲気は、すべての年代で5位以内にあげられています。

「窓口の集約」は40歳代以上で最も高いほか、すべての年代で上位3位以内にあげられています。また、「駐車場」は40歳代以上で高くなっており、50歳代を除き40歳代・60歳代・70歳代・80歳代で2位となっています。

年代	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
10歳代 (件数=77)	見た目の雰囲気 (48.1%)	デジタル化 (31.2%)	窓口の集約、待合いスペース、室内環境 (同率 24.7%)		
20歳代 (件数=136)	見た目の雰囲気 (46.3%)	デジタル化 (36.0%)	窓口の集約、待合いスペース (同率 29.4%)		分りやすい案内 (27.9%)
30歳代 (件数=205)	デジタル化 (42.9%)	窓口の集約 (42.0%)	見た目の雰囲気 (37.1%)	待合いスペース (36.6%)	分りやすい案内 (31.2%)
40歳代 (件数=300)	窓口の集約 (42.0%)	駐車場 (38.0%)	見た目の雰囲気 (36.3%)	待合いスペース (35.7%)	デジタル化 (34.0%)
50歳代 (件数=286)	窓口の集約 (45.5%)	待合いスペース (41.6%)	見た目の雰囲気 (35.3%)	駐車場 (35.0%)	分りやすい案内 (31.5%)
60歳代 (件数=298)	窓口の集約 (56.4%)	駐車場 (46.0%)	待合いスペース (40.9%)	見た目の雰囲気 (30.9%)	分りやすい案内 (30.2%)
70歳代 (件数=323)	窓口の集約 (59.4%)	駐車場 (49.8%)	待合いスペース (39.9%)	見た目の雰囲気 (26.0%)	分りやすい案内 (24.5%)
80歳以上 (件数=169)	窓口の集約 (62.7%)	駐車場 (48.5%)	待合いスペース (38.5%)	交通の便 (27.8%)	見た目の雰囲気 (24.3%)

【居住地区別】

居住地区別でみると、山之上、三和では「駐車場」が最も高くなっています。また、下米田では「デジタル化」が高くなっています。

居住地区	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
太田 (件数=378)	窓口の集約 (44.2%)	待合いスペース (36.2%)	駐車場 (36.0%)	見た目の雰囲気 (32.0%)	分りやすい案内 (27.5%)
古井 (件数=501)	窓口の集約 (53.3%)	待合いスペース (38.9%)	駐車場 (34.5%)	見た目の雰囲気 (31.1%)	分りやすい案内 (28.5%)
山之上 (件数=92)	駐車場 (51.1%)	窓口の集約 (47.8%)	待合いスペース (37.0%)	見た目の雰囲気 (35.9%)	デジタル化 (30.4%)
蜂屋(中部台含む) (件数=251)	窓口の集約 (44.6%)	見た目の雰囲気 (38.6%)	駐車場 (37.8%)	待合いスペース (36.3%)	分りやすい案内 (29.9%)
加茂野 (件数=321)	窓口の集約 (46.1%)	駐車場 (45.5%)	待合いスペース (40.2%)	見た目の雰囲気 (36.1%)	分りやすい案内 (30.8%)
伊深 (件数=45)	窓口の集約 (53.3%)	駐車場 (51.1%)	待合いスペース (46.7%)	見た目の雰囲気 (33.3%)	交通の便 (31.1%)
三和 (件数=20)	駐車場 (65.0%)	窓口の集約、待合いスペース (同率 40.0%)		見た目の雰囲気 (35.0%)	バリアフリー (30.0%)
下米田 (件数=181)	窓口の集約 (51.9%)	駐車場 (39.8%)	デジタル化 (32.0%)	待合いスペース (31.5%)	見た目の雰囲気 (30.9%)

【国籍別】

国籍別でみると、フィリピン国籍では「室内環境」、ブラジル国籍では「デジタル化」がそれぞれ最も高くなっています。

国籍	第1位	第2位	第3位
日本 (件数=1,745)	窓口の集約 (49.1%)	駐車場 (40.1%)	待合いスペース (38.1%)
フィリピン (件数=22)	室内環境 (36.4%)	待合いスペース (31.8%)	窓口の集約、交通の便 (同率 27.3%)
ブラジル (件数=22)	デジタル化 (40.9%)	分りやすい案内 (22.7%)	その他 (18.2%)

【市役所の利用頻度（問4）別】

市役所の利用頻度別でみると、いずれの利用頻度でも「窓口の集約」が最も高くなっていますが、年数回程度以上利用する人では「待合いスペース」が高くなっています。

市役所の利用頻度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
週1回以上 (件数=17)	窓口の集約 (88.2%)	待合いスペース (64.7%)	駐車場 (58.8%)	デジタル化 (47.1%)	見た目の雰囲気、 室内環境 (同率 41.2%)
月1回以上 (件数=113)	窓口の集約 (66.4%)	駐車場 (54.9%)	待合いスペース (42.5%)	分りやすい案内 (37.2%)	デジタル化 (36.3%)
年数回程度 (件数=881)	窓口の集約 (48.9%)	待合いスペース (41.7%)	駐車場 (38.0%)	見た目の雰囲気 (33.0%)	分りやすい案内 (28.3%)
年1回程度 (件数=525)	窓口の集約 (45.3%)	駐車場 (38.3%)	見た目の雰囲気 (34.7%)	待合いスペース (33.1%)	デジタル化 (28.6%)
利用していない (件数=256)	窓口の集約 (41.4%)	駐車場 (37.9%)	見た目の雰囲気 (34.8%)	待合いスペース (29.7%)	分りやすい案内 (28.1%)

【オンライン説明会への参加意向（問12）別】

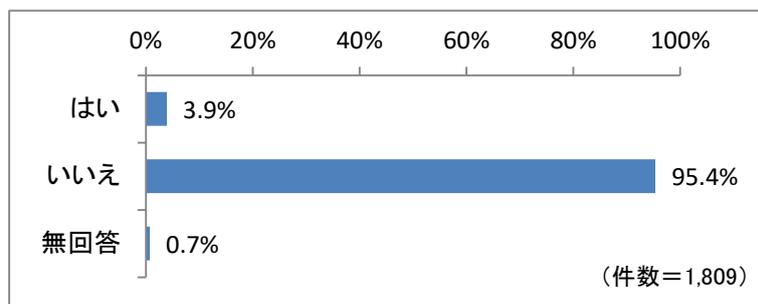
オンライン説明会への参加意向別でみると、参加意向のある人では「デジタル化」が高くなっています。

オンライン説明会への参加意向	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
はい (件数=756)	窓口の集約 (46.6%)	デジタル化 (39.4%)	待合いスペース (39.2%)	駐車場、見た目の雰囲気 (同率 37.7%)	
いいえ (件数=963)	窓口の集約 (49.9%)	駐車場 (40.4%)	待合いスペース (36.8%)	見た目の雰囲気 (31.2%)	分りやすい案内 (28.2%)

14 市民説明会への参加の有無

問 10 令和3年度に開催した「新庁舎整備事業市民説明会 2021」に参加されましたか。(○は1つ)

令和3年度の「新庁舎整備事業市民説明会 2021」への参加の有無は、「はい」(参加した)が3.9%、「いいえ」(参加しなかった)が95.4%となっています。

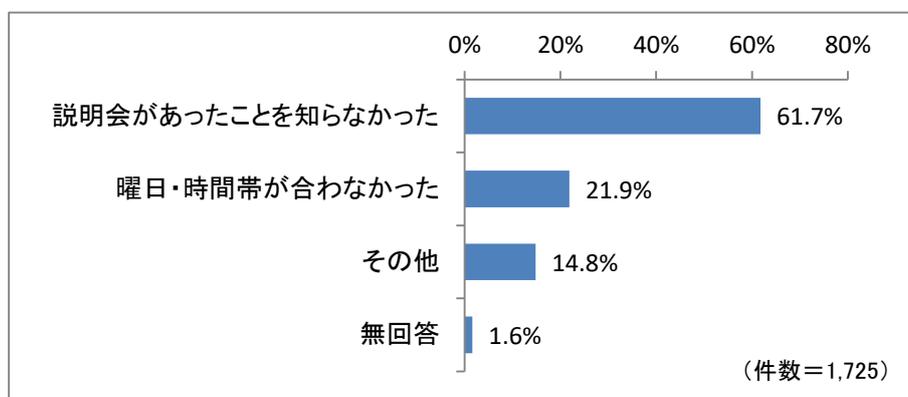


15 市民説明会に参加しなかった理由

【問 10 で「2 : いいえ」を選んだ方にお聞きします。】

問 10-1 不参加の理由を教えてください。(○は1つ)

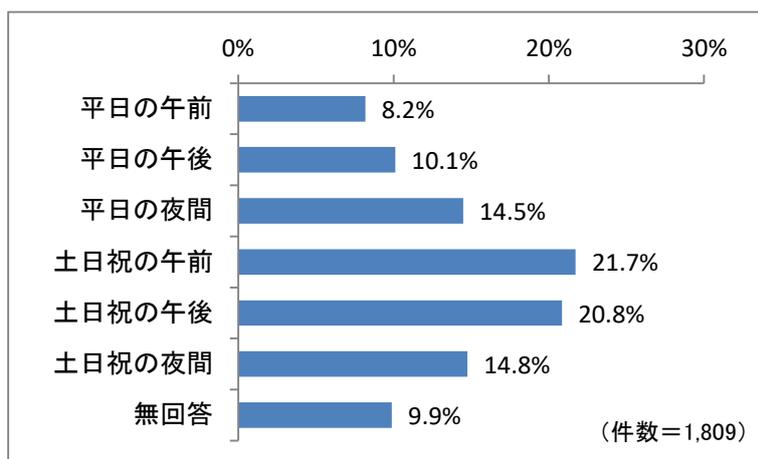
市民説明会に参加しなかった理由は、「説明会があったことを知らなかった」(61.7%)が最も高く、次いで「曜日・時間帯が合わなかった」(21.9%)、「その他」(14.8%)となっています。「その他」の内訳は、「興味・関心がなかった」、「仕事などで忙しかったから」、「コロナ禍で人が集まる場所へ参加するのを避けたから」等が多くなっています。



16 市民説明会に参加しやすい曜日・時間帯

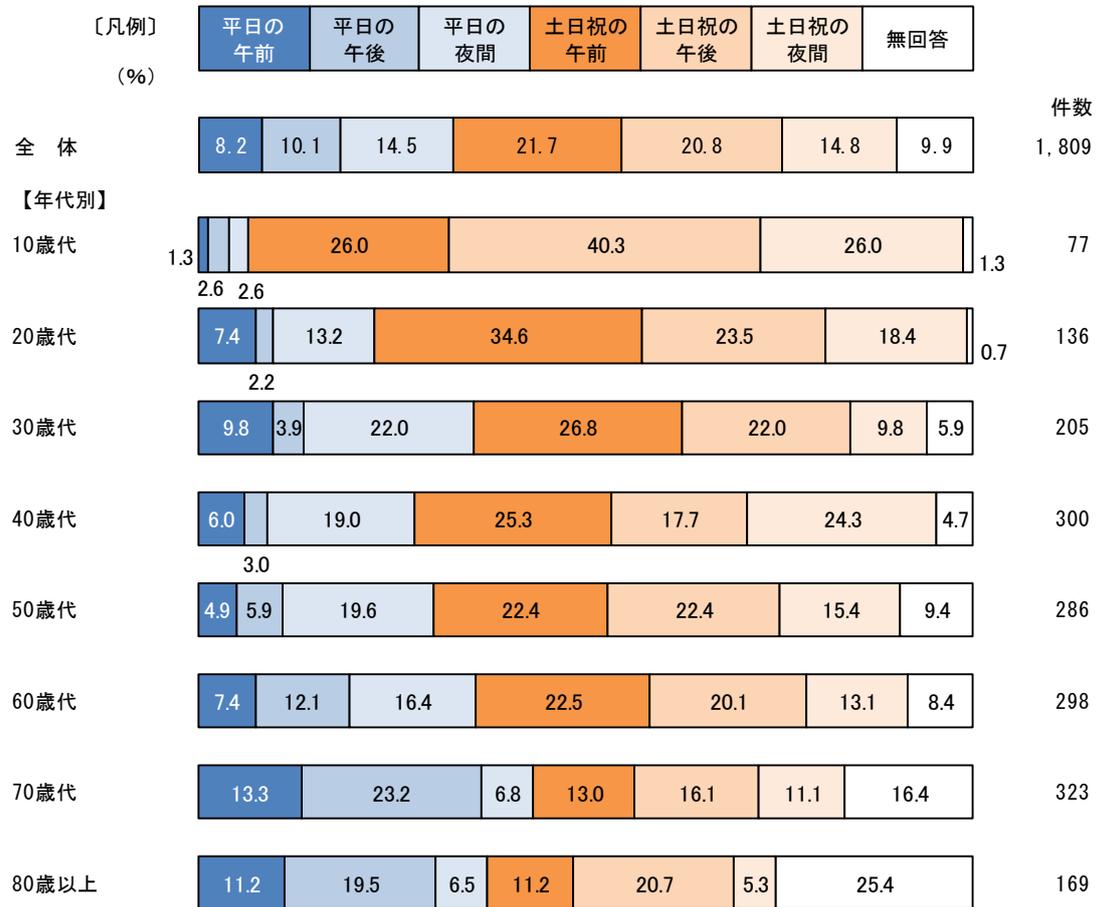
問 11 今後市民説明会を開催する場合、参加しやすい曜日・時間帯はありますか。(○は1つ)

市民説明会に参加しやすい曜日・時間帯は、「土日祝の午前」(21.7%)が最も高く、次いで「土日祝の午後」(20.8%)、「土日祝の夜間」(14.8%)、「平日の夜間」(14.5%)となっています。



【年代別】

年代別でみると、20歳代～60歳代では「土日祝の午前」、10歳代・50歳代・80歳以上では「土日祝の午後」、70歳代では「平日の午後」がそれぞれ最も高くなっています。



【居住地区別】

居住地区別でみると、太田・山之上・加茂野では「土日祝の午前」、古井・蜂屋・三和・下米田では「土日祝の午後」、伊深では「平日の夜間」がそれぞれ最も高くなっています。

〔凡例〕 (%)	平日の 午前	平日の 午後	平日の 夜間	土日祝の 午前	土日祝の 午後	土日祝の 夜間	無回答	件数
全 体	8.2	10.1	14.5	21.7	20.8	14.8	9.9	1,809
【居住地区別】								
太田	6.6	11.4	16.7	23.8	20.1	11.6	9.8	378
古井	9.4	11.0	11.8	20.6	23.4	12.8	11.2	501
山之上	6.5	6.5	14.1	23.9	13.0	22.8	13.0	92
蜂屋 (中部台含む)	6.8	8.8	18.7	19.9	21.9	15.9	8.0	251
加茂野	8.7	8.1	14.3	25.9	18.4	18.1	6.5	321
伊深	8.9	15.6	20.0	11.1	15.6	17.8	11.1	45
三和	5.0	5.0	10.0	10.0	30.0	25.0	15.0	20
下米田	10.5	12.7	11.0	18.8	20.4	14.9	11.6	181

【新庁舎整備の認知度（問5）別】

新庁舎整備の認知度別でみると、知らなかった人では土日祝に参加しやすいとする割合が高くなっています。

〔凡例〕 (%)	平日の 午前	平日の 午後	平日の 夜間	土日祝の 午前	土日祝の 午後	土日祝の 夜間	無回答	件数
全 体	8.2	10.1	14.5	21.7	20.8	14.8	9.9	1,809
【新庁舎整備計画の認知度（問5）別】								
知っていた	8.2	11.0	14.9	20.8	20.2	14.5	10.3	1,508
知らなかった	6.9	5.5	12.8	27.3	24.9	16.6	5.9	289

【新庁舎整備事業市民説明会 2021 への参加の有無（問 10） 別】

市民説明会への参加の有無別で見ると、参加した人では「平日の夜間」が最も高くなっています。

〔凡例〕 (%)	平日の 午前	平日の 午後	平日の 夜間	土日祝の 午前	土日祝の 午後	土日祝の 夜間	無回答	
全 体	8.2	10.1	14.5	21.7	20.8	14.8	9.9	件数 1,809
【新庁舎整備事業市民説明会2021への参加の有無（問10） 別】								
はい	7.0	9.9	31.0	16.9	16.9	14.1	4.2	71
いいえ	8.3	10.1	13.9	22.1	21.2	14.9	9.5	1,725

【市役所の利用頻度（問 4） 別】

市役所の利用頻度別で見ると、月 1 回以上利用する人では「平日の夜間」が最も高く、平日に参加しやすい人が多くなっています。利用頻度の少ない人ほど、平日より土日祝、午前より午後に参加しやすい人が多くなっています。

〔凡例〕 (%)	平日の 午前	平日の 午後	平日の 夜間	土日祝の 午前	土日祝の 午後	土日祝の 夜間	無回答	
全 体	8.2	10.1	14.5	21.7	20.8	14.8	9.9	件数 1,809
【市役所の利用頻度（問 4） 別】								
週 1 回以上	11.8		29.4	17.6	11.8	17.6	11.8	17
月 1 回以上	8.8	18.6	22.1	17.7	21.2	6.2	5.3	113
年数回程度	9.5	9.9	15.7	21.6	19.8	14.0	9.6	881
年 1 回程度	6.7	9.9	13.3	23.6	21.1	16.2	9.1	525
利用していない	6.3	8.2	8.6	20.7	23.4	19.1	13.7	256

【新庁舎整備について知った時期（問5-1）別】

新庁舎整備について知った時期別でみると、平成29年度に知った人では「平日の夜間」、平成30年度に知った人では「土日祝の午後」、令和元年度に知った人では「土日祝の夜間」、令和2年度以降に知った人では「土日祝の午前」がそれぞれ最も高くなっています。

〔凡例〕 (%)	平日の 午前	平日の 午後	平日の 夜間	土日祝の 午前	土日祝の 午後	土日祝の 夜間	無回答	件数
全 体	8.2	10.1	14.5	21.7	20.8	14.8	9.9	1,809
【新庁舎整備について知った時期（問5-1）別】								
平成29年度	7.4	12.6	23.7	20.0	13.3	11.9	11.1	135
平成30年度	7.8	14.0	14.2	19.5	20.6	14.0	9.9	486
令和元年度	6.6	9.4	13.2	16.0	17.9	18.9	17.9	106
令和2年度	9.6	12.3	12.6	21.8	20.7	13.4	9.6	261
令和3年度	8.6	12.9	15.1	24.7	20.4	12.9	5.4	93
令和4年1月頃	9.7	5.4	16.3	24.0	20.9	16.3	7.4	258

【オンライン説明会への参加意向（問12）別】

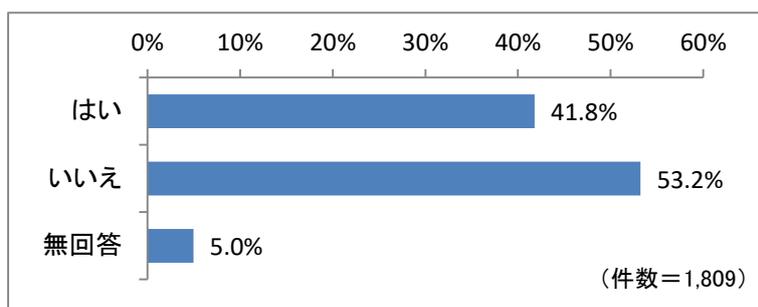
オンライン説明会への参加意向別でみると、参加意向のある人では「土日祝の午前」、参加意向のない人では「土日祝の午後」がそれぞれ最も高くなっています。

〔凡例〕 (%)	平日の 午前	平日の 午後	平日の 夜間	土日祝の 午前	土日祝の 午後	土日祝の 夜間	無回答	件数
全 体	8.2	10.1	14.5	21.7	20.8	14.8	9.9	1,809
【オンライン説明会への参加意向（問12）別】								
はい	6.5	6.7	19.3	26.2	23.1	15.2	2.9	756
いいえ	10.3	13.3	11.5	19.6	20.4	15.7	9.2	963

17 オンライン説明会への参加意向

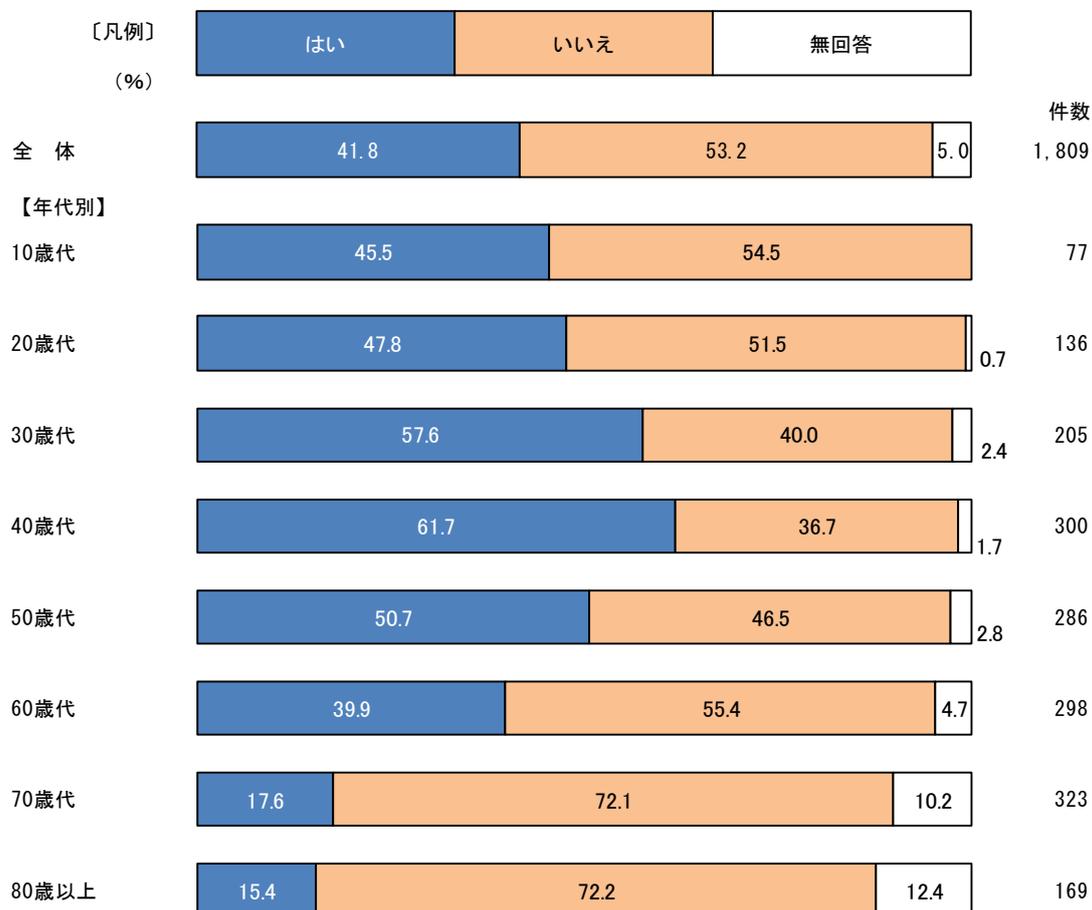
問 12 今後市民説明会を開催する場合、オンライン説明会であれば参加したいと思いますか。(○は1つ)

オンライン説明会への参加意向は、「はい」(参加したいと思う)が41.8%、「いいえ」(参加したいと思わない)が53.2%となっています。



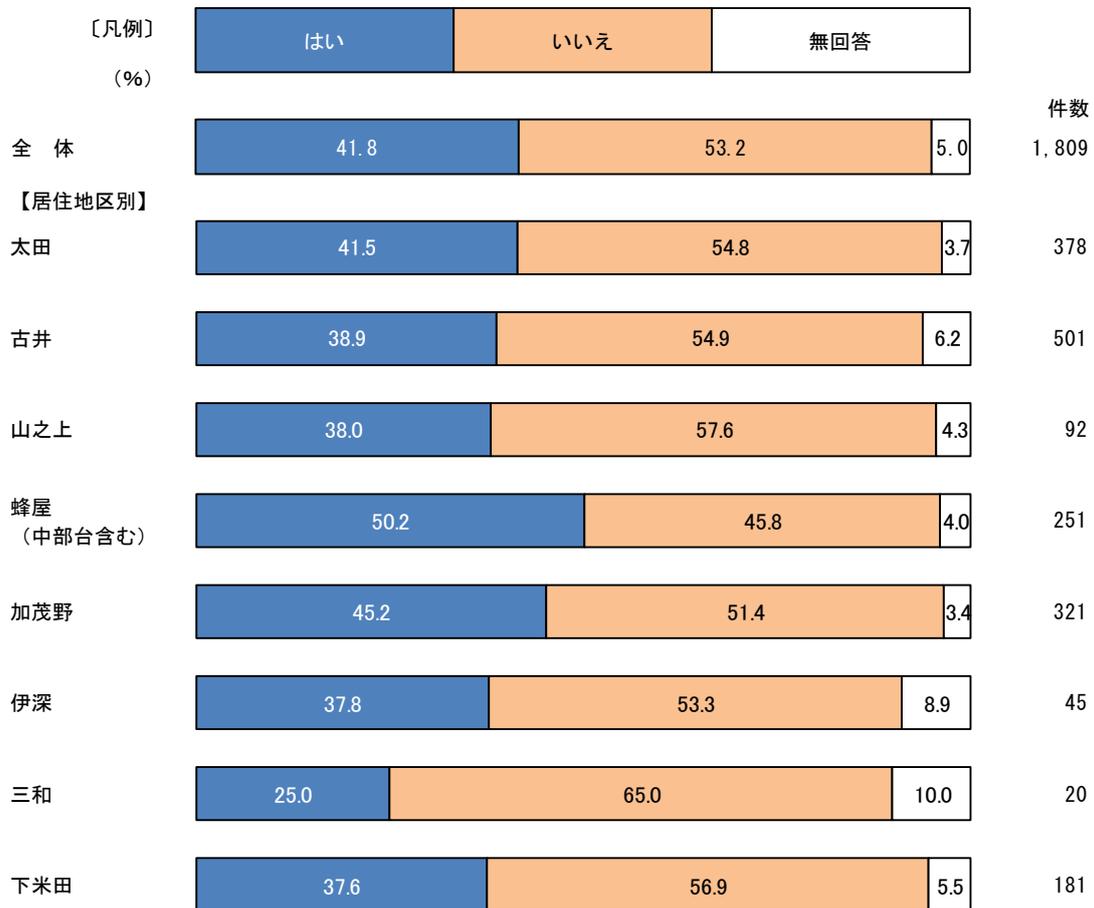
【年代別】

年代別でみると、30歳代～50歳代では「はい」が「いいえ」を上回り、特に40歳代の参加意向が高くなっています。その他の年代では「いいえ」が「はい」を上回り、特に70歳代以上では「いいえ」が7割以上と高くなっています。



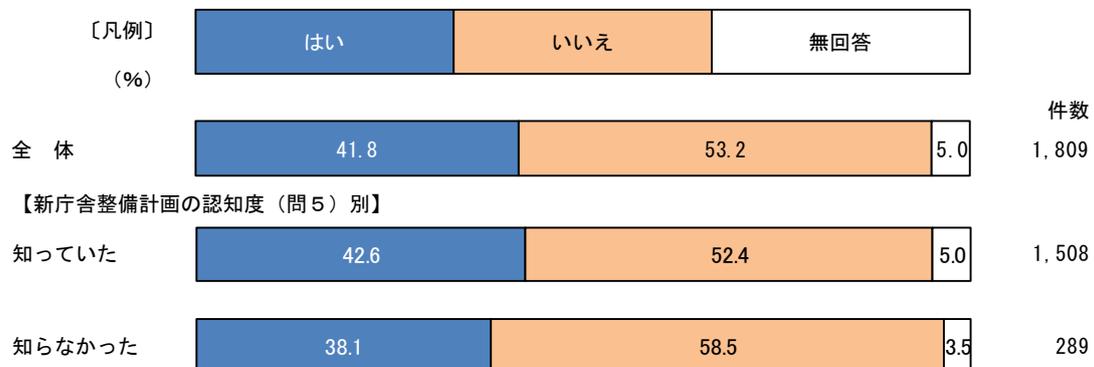
【居住地区別】

居住地区別でみると、蜂屋においてのみ「はい」が「いいえ」を上回っています。



【新庁舎整備の認知度（問5）別】

新庁舎整備の認知度別でみると、大きな差はみられませんでした。



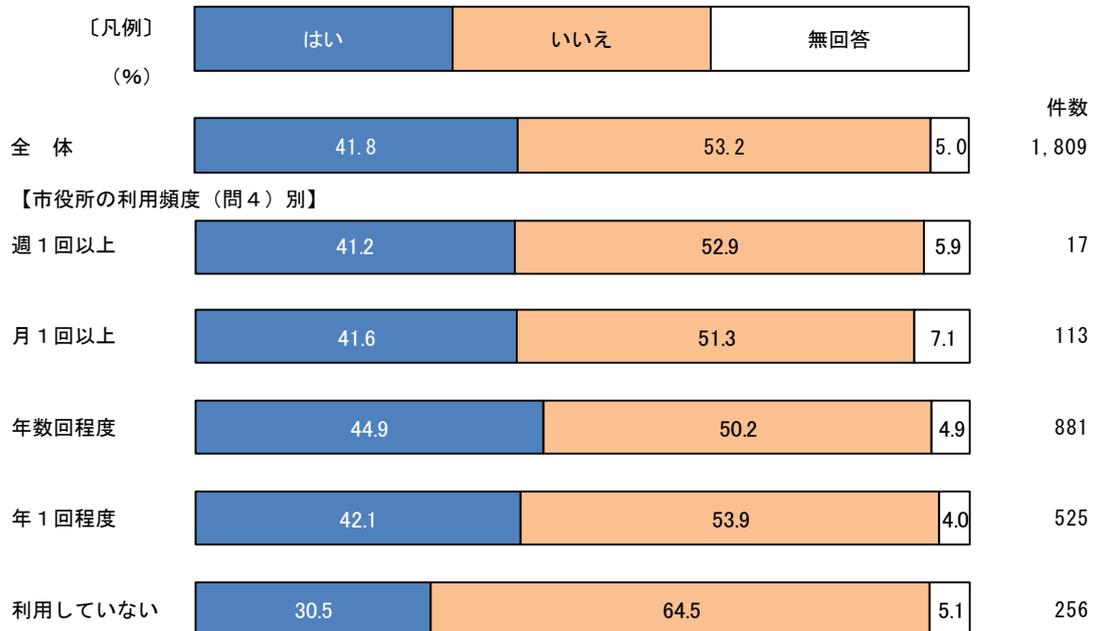
【新庁舎整備事業市民説明会 2021 への参加の有無（問 10） 別】

市民説明会への参加の有無別で見ると、参加した人では「はい」が「いいえ」を若干上回っています。



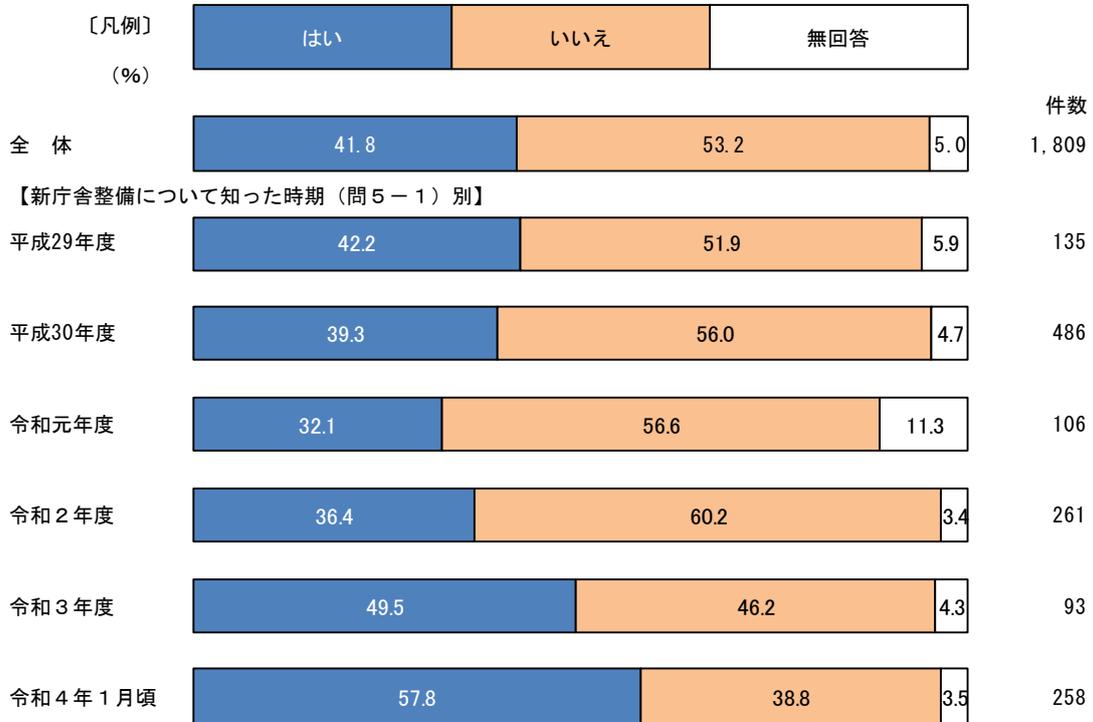
【市役所の利用頻度（問 4） 別】

市役所の利用頻度別で見ると、利用していない人では「いいえ」が6割以上と高くなっていますが、利用者の利用頻度別では大きな差はみられませんでした。



【新庁舎整備について知った時期（問5-1）別】

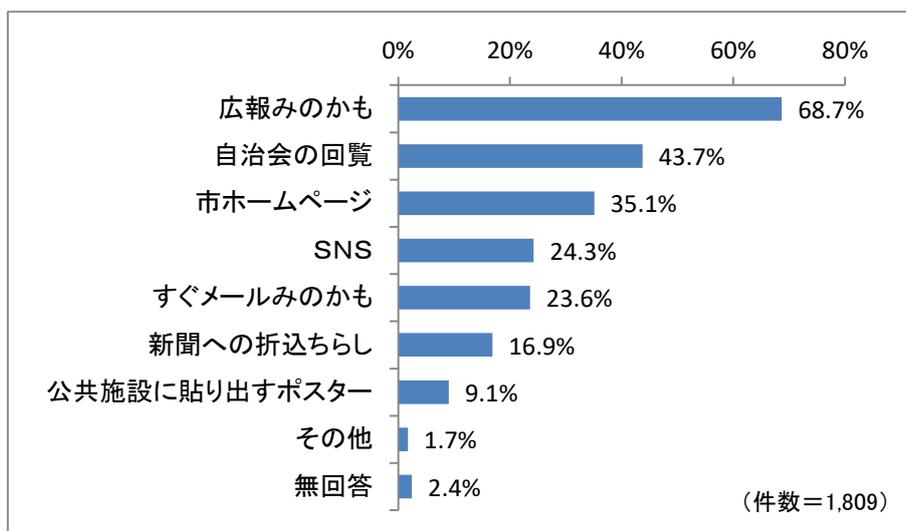
新庁舎整備について知った時期別で見ると、令和3年度以降に知った人では「はい」が「いいえ」を上回っています。



18 新庁舎に関わる情報発信として利用しやすい媒体

問 13 新庁舎に関わる情報発信として、利用しやすいものは何ですか。(〇はいくつでも可)

新庁舎に関わる情報発信として利用しやすい媒体は、「広報みのかも」(68.7%)が最も高く、次いで「自治会の回覧」(43.7%)、「市ホームページ」(35.1%)、「SNS」(24.3%)、「すぐメールみのかも」(23.6%)となっています。



【年代別】

年代別で見ると、20歳代以下では「SNS」が最も高く、30歳代以上では「広報みのかも」が最も高くなっています。また、20歳代・40歳代・50歳代では「市ホームページ」が高くなっています。

年代	第1位	第2位	第3位
10歳代 (件数=77)	SNS (66.2%)	広報みのかも (36.4%)	自治会の回覧 (28.6%)
20歳代 (件数=136)	SNS (57.4%)	市ホームページ (42.6%)	広報みのかも (37.5%)
30歳代 (件数=205)	広報みのかも (49.3%)	SNS (48.3%)	市ホームページ (39.5%)
40歳代 (件数=300)	広報みのかも (66.0%)	市ホームページ (42.3%)	自治会の回覧 (39.3%)
50歳代 (件数=286)	広報みのかも (72.4%)	市ホームページ (43.7%)	自治会の回覧 (40.6%)
60歳代 (件数=298)	広報みのかも (79.2%)	自治会の回覧 (49.3%)	市ホームページ (43.3%)
70歳代 (件数=323)	広報みのかも (84.8%)	自治会の回覧 (62.2%)	新聞への折込ちらし (22.0%)
80歳以上 (件数=169)	広報みのかも (81.1%)	自治会の回覧 (66.3%)	新聞への折込ちらし (21.3%)

【居住地区別】

居住地区別でみると、いずれの地区でも「広報みのかも」が最も高くなっています。また、伊深では「SNS」、三和では「すぐメールみのかも」がそれぞれ第3位にあがっています。

居住地区	第1位	第2位	第3位
太田 (件数=378)	広報みのかも (74.9%)	自治会の回覧 (42.3%)	市ホームページ (33.3%)
古井 (件数=501)	広報みのかも (69.1%)	自治会の回覧 (43.9%)	市ホームページ (31.9%)
山之上 (件数=92)	広報みのかも (76.1%)	自治会の回覧 (37.0%)	市ホームページ (32.6%)
蜂屋(中部台含む) (件数=251)	広報みのかも (62.5%)	自治会の回覧 (47.8%)	市ホームページ (33.5%)
加茂野 (件数=321)	広報みのかも (63.6%)	市ホームページ (43.6%)	自治会の回覧 (38.6%)
伊深 (件数=45)	広報みのかも (68.9%)	自治会の回覧 (53.3%)	SNS (26.7%)
三和 (件数=20)	広報みのかも (75.0%)	自治会の回覧 (60.0%)	すぐメールみのかも (30.0%)
下米田 (件数=181)	広報みのかも (69.1%)	自治会の回覧 (50.8%)	市ホームページ (39.8%)

【新庁舎整備の認知度(問5)別】

新庁舎整備の認知度別でみると、整備について知らなかった人では「SNS」が最も高くなっています。

新庁舎整備の認知度	第1位	第2位	第3位
知っていた (件数=1,508)	広報みのかも (75.7%)	自治会の回覧 (47.1%)	市ホームページ (36.2%)
知らなかった (件数=289)	SNS (42.9%)	広報みのかも (33.2%)	市ホームページ (30.4%)

【新庁舎整備事業市民説明会2021への参加の有無(問10)別】

市民説明会への参加の有無別でみると、第3位までで順位差はみられませんでした。

市民説明会への参加の有無	第1位	第2位	第3位
はい (件数=71)	広報みのかも (84.5%)	自治会の回覧 (57.7%)	市ホームページ (46.5%)
いいえ (件数=1,725)	広報みのかも (68.3%)	自治会の回覧 (43.4%)	市ホームページ (34.8%)

【市役所の利用頻度（問4）別】

市役所の利用頻度別でみると、利用していない人では「SNS」が第3位にあがっています。

市役所の利用頻度	第1位	第2位	第3位
週1回以上 (件数=17)	広報みのかも (64.7%)	自治会の回覧、市ホームページ (同率 35.3%)	
月1回以上 (件数=113)	広報みのかも (80.5%)	自治会の回覧 (50.4%)	市ホームページ (48.7%)
年数回程度 (件数=881)	広報みのかも (70.6%)	自治会の回覧 (44.4%)	市ホームページ (36.0%)
年1回程度 (件数=525)	広報みのかも (66.3%)	自治会の回覧 (42.7%)	市ホームページ (34.1%)
利用していない (件数=256)	広報みのかも (62.1%)	自治会の回覧 (42.2%)	SNS (28.9%)

【新庁舎整備について知った時期（問5-1）別】

新庁舎整備について知った時期別でみると、令和3年度以降に知った人では「SNS」が第3位にあがっています。

新庁舎整備について 知った時期	第1位	第2位	第3位
平成29年度 (件数=135)	広報みのかも (80.0%)	市ホームページ (48.1%)	自治会の回覧 (46.7%)
平成30年度 (件数=486)	広報みのかも (88.7%)	自治会の回覧 (52.3%)	市ホームページ (36.4%)
令和元年度 (件数=106)	広報みのかも (75.5%)	自治会の回覧 (45.3%)	市ホームページ (34.9%)
令和2年度 (件数=261)	広報みのかも (82.0%)	自治会の回覧 (52.5%)	市ホームページ (37.2%)
令和3年度 (件数=93)	広報みのかも (67.7%)	自治会の回覧 (41.9%)	市ホームページ、SNS (同率 33.3%)
令和4年1月頃 (件数=258)	広報みのかも (53.5%)	自治会の回覧 (39.1%)	SNS (37.6%)

【オンライン説明会への参加意向（問12）別】

オンライン説明会への参加意向別でみると、参加意向のある人では「市ホームページ」が順位も割合も高くなっています。

オンライン説明会 への参加意向	第1位	第2位	第3位
はい (件数=756)	広報みのかも (65.1%)	市ホームページ (46.0%)	自治会の回覧 (39.6%)
いいえ (件数=963)	広報みのかも (74.4%)	自治会の回覧 (48.0%)	市ホームページ (29.1%)

19 新庁舎整備事業に関するご意見

問 14 新庁舎整備事業に関するご意見についてお聞かせください。（自由記述）

ご意見の内容から、機能・場所・選定方法などに分類し、一部を記載しています。

選定方法

・大きな立派な庁舎より、市民のためにどんな形がいいかもっと話し合ってほしい。市役所は身近にある便利屋さん、困っていても声をあげられない我慢している人がほとんどです。今の生活が必死。どうしても好きなように、と思っている人もとても多いと思います。これから高齢化になることはすぐ目の前、素敵な庁舎は利用できない、行きたくても行けない人が多い。車で自由に行動していたので、時間にしばられる苦痛が大きいと思う（あい愛バスに乗らない理由）。

・十分な検討の上、最善を図られること。

・駅前再開発と組み合わせた前計画は特定の事業者（地権者）に利益をもたらすことに市民の多くは疑念を持っている。太田駅前の復活はほとんど不可能と思われる。事業者の知恵がない。

・「民間事業者との連携を深化させる」とありました。会議の中では民間事業者という言葉が多く、新庁舎建設前から、候補地を選ぶ前から、市役所運営主体となる民間事業者がすでに決まっているように思えます。

・市役所建設の場所を決めるにあたって、美濃太田駅南の街づくりと新庁舎の建設を関連づけないで、まずは市役所の建設を主体として考えることをすべきであると思います。

・庁舎のヘビーユーザーは市職員である。彼らが気持ちよく仕事ができる環境を整えるべく、きちんと職員達の意見を取り入れることが重要。若い青少年達があんな庁舎で働いてみたいと思える魅力ある市役所を作り、優秀な人材確保にもつなげたいところ。

・駅前ありきの新庁舎アンケートには疑問がある。本来なら中部国際医療センターの敷地を考えるべきだった。

・現在の岐阜県庁建設当時のことを参考にしてほしい。中部国際医療センター近くに新庁舎のみ建設し、駐車場は共有すれば（市からも土地代を負担しているので）。駅前に作れば、駐車場借地に資金が必要で、その代金で土地取得すればいい。住民投票（アンケート）すべきであった。

・市民に対する説明不足やある特定の方への利益の問題など、納得できない点は多々ありますが、太田駅前周辺がそれで活気づき以前のにぎわいを取り戻せるならそれが良い。自然を破壊し一から庁舎を作るのは難しいと感じます。

場所

・駐車場に新庁舎を建てる。1階を立体駐車場にすれば浸水被害に遭わない。7階建てくらいにしてほしいです（避難所にもなると思うから）。今の市役所を壊して、立駐をつくる。

・年寄りには行きやすいところがよい。現在の場所は近いので行きやすいが、あい愛バスの停留所など近くになく、移動するのも億劫に感じてしまう。

・今後（将来）栄えることを考慮して立地場所を検討してみたらどうでしょうか。文化の森の近くとか（改装して市役所に変えて、新築部分も作る）、自然との共存ができる場所とか、子どもが安全に遊べる場所とか。

・現在の市役所も近く、市全体を周遊するあいあいバスの乗り場が集中する美濃太田駅付近がよいと思います。

市全体から市役所を利用する市民にとって便利だと思います。特に車の運転をされない方は、あいあいバスを利用される方も多く、市役所で用を済ませた後もあいあいバスを乗り換え買い物をしたり、病院に行ったりと、駅は市のハブ空港的な存在としての場所でもあると思うので、美濃太田駅付近が1番良いと思います。

すべて1か所にまとめていただくと市民は便利です。

・場所は現在のところでよいと思う。美濃加茂市の中心の太田、古くからの宿場町、中山道、木曽川など、これらのものを大切に、現在の場所から離してしまうと太田町の発展はなくなってしまうのでは？

これを中心に現在の場所で発展するような町づくりを行っていくことの方が重要だと思います。誰でも気軽に立ち寄れる市役所もありだと思います。

・車での移動が多いので、駐車しやすい所が良い。なるべく予算を少なくして透明性をもって進めてもらいたい。シティホテルは必要であるため、もし造るとすれば他の所に作ってもらいたい。

・本当に財政に余裕があるのなら作ってもよい。将来市民が税で苦しむことになってはいけない。シティホテルは失敗だった。誰が計画したのか、太田の駅周辺に市役所を作ると駅から離れた所がますますさびれてしまう。駅の近くはにぎわうが、今の場所に作るのが良い。浸水のことは1階を駐車場にしてはどうか。災害の時市民が避難する所も一緒に作ると良い。

・現在の場所に慣れており、不便さも感じたことは一度もありません。シティホテルの場所に移動するとなれば、駐車場に不便さを感じるのでは。現在、駅前通りには無料駐車場がありません。美濃加茂に住んでいる大半の人はおそらくお金を払って駐車場に止め、買い物や用事を済ませる、という概念がありません。田舎だからです。友人知人はみんなそう言っています。だから駅前商店街はさびれたままなのだ。駐車場整備計画地も、資料では点在していると感じます。距離感があり、できれば市役所へ行きたくない、とってしまうのが正直な思いです。現在の市役所駐車場に不便さ、足りなさを感じている人は何%くらいいるのでしょうか。私は十分だと思いますし、いつも余裕がある感じがします（たまたまかもしれませんが）。お金をかけず、直して使っていけばいいのにな、というのが最初の感想です。財源があるのであれば、中山道の活性化を願います。中山道に近い今の場所でもよいのでは。参考になりましたでしょうか。

・市役所において最も重要なのは、出入口の多いかつ広い平面的な駐車場です。市役所の営業時間は普通の社会人は利用不可であり、そのため、昼休みのわずかな時間内に駆け込むことになる。そこで駐車場で時間を取られたらたまったものではない。現場所はまだいいが、今選定中の美濃太田駅周辺は最悪である。土地の確保が難しい。土地の価格が高い。そのため、利便性の悪い立体駐車場となるのは目に見えている。昼休みが終わってしまう。そもそも都会でない美濃加茂市がそんな都会の真似事をしてはいけない。土地の価格が低く、広い

土地が確保できる場所はたくさんあるはずですが。候補地である前平公園周辺が最適ではないでしょうか。問6-1の1（公共交通の利便性がよい）、市役所はその市民が主に利用するものですよね。美濃加茂市民が自分のとこの市役所に行くのに電車を使うと思いますか。ゼロではないでしょうが、大半は自動車です。市民のニーズに合った場所かつ子育て世代のための建物にしていきたい。

- ・分散型は市民にとって不便。施設（駐車場含む）の維持管理費が多額となる。

機能

・お店（カフェ、レストラン等）が併設されていて、市役所に用事がなくても立ち寄りたいたいと思える場所であってほしい。明るいデザイン空間の市役所を望みます。

・どこからでも交通の便利な所、駐車場が十分な所。静かな落ち着いた環境。分庁舎があるのだから、広い場所は要らない。オンライン申請の充実、デジタル化の進んだ庁舎。市民の集まりやすい庁舎。

・まず第一に駐車場の広い場所が良い。できるだけ太田の駅に近い方が良いか。駅前の商業地に造る必要がない（コスト、狭い）。風水害の対策面で他に広い公園があると豊かな環境となる（前平公園の活用）。

・全部が全部デジタル化やオンラインにしなくても良いと思う。それぞれの年齢や人種に合わせた、人に寄り添ってもらえる環境の方が庁舎を利用しやすいと思います。古くなってきた建物を新しくするだけでも市民には使いやすくなると思います。大きくするだけがいいとは思いません。これから起こりうる災害にも十分に機能が発揮して市民を第一に安全を確保できる庁舎にしたいと思います。

・主要道路からすぐに駐車場に入れて、駐車場が広いこと。今気候変動が起きている中、災害に見舞われない、川等から離れた場所であること。いろいろな用事が一度に済まされるような、利用者が頻繁に利用する商業施設の近くが良いと思います。

・現在の場所が良いのでは。駐車場を建物の下に作ったり、高くすることで、スペースを広げることができるのではないのでしょうか。

・駅前発展のために立ち退きになった弥生町の人達。街の機能を考える。建売住宅で家がいっぱい建っていても町にはなっていない。駅を中心とした、南・北・東部へと広がりを求める。庁舎はその一画にあり、市民のために果たすべき。

・美濃加茂市にしかできない場所もいいのではないのでしょうか。これからは住民票とかその他の手続きがデジタル化するので、市役所の来所者は少なくなるのでは、と思ってます。中部国際に保健所ができたので、市民が昔の市役所スペースを使うこともないのでは、と思います。市役所の職員の方が働きやすい、効率の良い市役所が良いと思います。

・どうせなら岩盤のしっかりしている、かつ開発余地のある木野公民館（加茂野町木野）近辺まで出てこれば良い（関市に似たタイプになるだろうが）。道路も開通済、富加、坂祝へのアクセスもある。スポーツ施設でも誘致して、テニス、バスケットコートを整備すれば、近隣の小・中・高の練習か試合会場になり得るのではないか。今後オンライン化が進む中で、いつまでも鉄道に依存した未来地図を想像しても行き詰まると思う。

- ・すべての市民に使いやすく機能的で人や環境にやさしい新庁を希望します。美濃加茂市は

自然が豊かです。この強みを生かして、美濃加茂らしい新庁をぜひお願いします。

- ・市役所までの交通機関の確保（バス）、白を基調とした明るい入口・室内、緑が見える大きな窓、駐車場の1台あたりの幅、ゆとりのある待合スペース。
- ・小牧市役所のように明るくて広々とした新庁舎を希望します。トイレもきれいでわざわざ訪れて使用したくなります。エレベーターがあるのも使いやすく全体を見廻せるのでいいと思います。
- ・基本、車移動なので、駐車場が広いほうがいい。なるべく費用を抑えて子どものためにお金を使ってほしい。建物より、職員の質のほうが重要だと思う。海津市に住んでいたことがあるが職員の対応がすばらしかったので、美濃加茂に引っ越してきて対応や雰囲気が悪くとてもショックでした。
- ・財政の負担は極力抑え、環境の良い庁舎、また、自由に利用できるスペースがほしいです。
- ・連絡所やマイナンバーカードをもっと活用し、いろいろ手続きができるようにすれば、お金も抑えられて市民も便利になるのではと思います。
- ・新庁舎はできるだけ簡素化し、各種手続きにはデジタル化をもっと推進する方が良いと思う。その分、防災設備事業と資金を投入するべきだと思います。

財政面

- ・整備予算を抑えて建設することが良いのではないのでしょうか。
- ・予算は抑えてほしい。
- ・財政負担を抑えた、土地取得費等がかからない現本庁舎に建て替えてほしい。建設中は旧木沢病院（古井町）やNTT（若宮ビル）などの建物を利用すればできると思う。町の中心街で費用を極力抑えたコンパクトな本庁舎を太田町に建設してほしい。
- ・税金の無駄遣いにならないように。
- ・土地建築費のコストを安くしてほしい。市民税が高くなるように。市役所でイベント等がやれる場所があれば市民が集ってきて活気が出ると思います。
- ・新庁舎整備に多額の金額を使って整備すること自体疑問に思います。大切な税金です。他の支援策等、税金を大切にに使っていただきたいです。他の使いみちはたくさんあるのではないのでしょうか。美濃太田駅周辺への新案についてまったく反対というわけではありませんが、一部の人間だけが有益を得るような形では納得ができません。

規模

- ・規模の検討の前提が納得できない。魅力ある町は必ず人口が増える。人が流入増加することは、住みやすく魅力があるから。横ばいベースにした考え方は魅力ある街を作ろうとする行政としていかがなものか。
- ・太田、古井にとらわれることなく、最初は少々不便でもいいので広い土地を確保し、すぐに狭くなって建て増しをすることのないようにしてほしいと思っています。
- ・立派でなくても良い。
- ・新庁舎は長生きすれば完成を見ることができそうですが、まあ無理でしょうか。まずは広い駐

車場を確保してほしい。自然も一杯取り入れて、緑が多くて、庁舎の中の雰囲気も明るく、やさしい、どんな人でもやさしい笑顔で受け入れてもらえる、そんな職員の方々と、建物も明るく、これからの時代に合ったSDGsを考えた庁舎にしてもらいたいものです。

- ・「中部国際医療センター」に負けないくらい立派な庁舎にしていきたい。
- ・利用者である市民の大部分が車でのアクセスになるので、とにかく駐車場の広さと出入りのしやすい場所が良いです。
- ・駅周辺だけでなく、他3エリアの具体的な位置と建物規模を示すべき。

上記に該当しない意見

- ・他の市のようなお城とかそういうものがない。
- ・新しくできるのを楽しみにしています。大変なことなので無事故を祈ってます。
- ・市民が気軽に立ち寄れる新庁舎にしてほしいです。「市役所」という場所は入りづらいイメージがあります。
- ・駅前に予定されていますが、交通渋滞等の対策はとられていますか。
- ・人が集まる所にお金が集まり、市が豊かになっていくので、新庁舎の建設により移住者が増えるかどうかを第一に考えると良いのではないかと思います。